



特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会

特定非営利活動法人  
**静岡県ボランティア協会**  
2022–2023年度  
年次レポート

誰もが安心して  
暮らせる社会を目指して

誰もが住みやすいと感じられる社会を  
自分らしく生きられる社会を  
共に創り出していくために  
私たちは、これからも  
活動に取り組んでまいります。



## はじめに

コロナ禍で過ごした3年間、世界を覆いつくした感染症を正しく恐れることを知り、マスクを外した新しい生活が戻りつつあります。しかし、咳・息切れや倦怠感などの後遺症に苦しむ人たちも少なくありません。今後も一人ひとりが予防に気をつけながら、感染症と共にいる生活をしていくことになります。

さて、私たちの社会経済活動は身近なところで深刻です。大規模店舗周辺などでは、昔ながらの店舗はシャッターをおろし、令和4年台風15号等の自然災害も追い打ちをかけています。市民活動・ボランティア活動は、社会のセーフティネットの網からするりと抜け落ちてしまいそうな人たちを丁寧に支えていく役割があります。また、ロシア軍によるウクライナ侵略は先が見通せません。一方的なロシア軍による暴力的殺戮と破壊により多くのウクライナ市民の命が奪われ、住む家を失っています。戦いが止み、平和が戻ることを願いつつ、本協会も賛同団体になっている「ウクライナ希望のつばさ SHIZUOKA」の活動は、昨年4月1日より静岡県に避難されて来られた人たちに、少しでも支援できることをしようと2年目の活動が続いているます。

本協会はこの4月に設立から46年を迎えました。5月21日には令和5年度定期総会を開催し、令和4年度事業報告・決算報告、並びに令和5年度の事業計画・予算を承認いただきました。総会の記念講演では「アフガニスタンの今」と題し、認定NPO法人力カレーズの会理事長のレシャード・カレッド氏にお話を伺いました。タリバン政権のもとで、国際社会からの支援を受けることができず、ウクライナ紛争によりさらに孤立感を深めるアフガニスタンで今、何が起きているのかを知る大変貴重な機会となりました。本年次レポートに定期総会で承認された内容が収められていますので、ぜひご覧いただき、本年度も会員の皆さまをはじめ、協会を支えていただける皆さんに、更なるご理解とお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、本年次レポートの作成にあたり、ご協賛いただいた企業・団体・社会福祉施設、関係者の皆さまに心よりお礼を申し上げます。

人と人との関係を繋ぎ、ボランティア・市民活動を広げ、その先にある未来を支えてくれる若者たちの学びと体験の機会を支えていただくためにも、是非とも引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げ、あいさつとさせていただきます。

令和5年6月吉日

特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会  
理事長 小野田全宏

# Contents

■はじめに	
■2022(令和4)年度事業報告	1
I. 次代を担う青少年育成事業の取り組み	2
1. 第41回サマーショートボランティア活動計画事業	
2. 青少年の異文化交流体験事業	
第34回海外でのボランティア活動に学ぶ高校生スタディツアーハン・アジア	
3. TOMOSHIBIプロジェクト「東北スタディツアーハン」	
4. 高校生・大学生と共に創る「共生社会づくり」	
II. ケアの文化を社会に浸透させていく取り組み	5
「ケアする人のケア」を学ぶ会2022	
III. 大規模災害に備えたボランティア活動体制を整備する取り組み	5
1. 南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク事業	
(1) 南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会	
(2) ボランティアによる災害時の要配慮者支援をともに考える事業	
「災害時の知恵ぶくろ～要配慮者支援編～」	
IV. 中間支援組織として「つなぐ」活動の取り組み	7
1. 静岡県総合社会福祉社会館ボランティアビューロー管理者としての活動	
2. ボランティア相談支援事業等	
(1) ボランティア相談支援	
(2) 教育現場におけるボランティア学習の啓発・推進	
(3) 大型リフトバス「ふじのくに愛輪号」の運行管理	
(4) ボランティア活動参加促進事業	
(5) ボランティアガイドの作成	
3. 市民活動サポートセンター事業	
(1) 市民活動に関する助成金情報をはじめとした情報収集と提供	
(2) ボランティアコーディネート研修会	
(3) ソーシャル・ファシリテーション講座2022	
(4) 第39回ボランタリズム推進団体会議in東京(通称:民ボラ)	
(5) 県民の日イベント「フェスティバルウェル2022」	
(6) カレーズの会への活動支援協力	
4. 研修・養成事業	
(1) 第44回静岡県ボランティア研究集会	
5. 広報誌発行事業	
機関誌の発行	
6. 情報提供事業	
ホームページの運用・管理	
7. 静岡市番町市民活動センター指定管理事業	
V. 組織及び基盤強化を図る取り組み	19
1. 自主財源を確保していくための事業	
(1) 会員管理・会員獲得	
(2) ボラ協の夏のとくべつ募金・年末年始とくべつ募金	
(3) 第38回しづおか福祉バザールinシズウエル	
(4) 課題解決プロジェクト募金	
(5) リサイクルでボランティアを応援	
2. 本業を活かした企業の社会貢献活動との連携	
「1本のジュースがvolunteerを応援」	
3. 理事会・定期総会の開催と事務局の連携	
VI. 緊急支援の取り組み	22
1. 令和4年台風第15号対応	
2. ウクライナ避難者への緊急支援対応	
3. トルコ・シリア地震緊急支援対応	
2022(令和4)年度決算報告	25
一般会計収支決算・特別会計収支決算	
■監査報告	52
■2023(令和5)年度事業計画	53
■2023(令和5)年度一般会計収支予算・特別会計収支予算	61
■関連資料	65
特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会2022(令和4)年度会員紹介	
特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会定款	
■広告協賛(応援)企業・団体様ご紹介	77
特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会のご案内	

# **令和 4 年度 事業報告**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

## I. 次代を担う青少年の育成事業の取り組み

### 1. 第41回サマーショートボランティア活動計画事業

(静岡県共同募金配分金事業・静岡県議会ボランティア推進議員連盟助成事業)

毎年夏休みに福祉施設や社会教育施設でボランティアを体験する本事業は、施設での活動を主としながら、感染症に起因する理由で施設での活動ができなくなった場合の代替活動も計画し、参加者はいずれかの内容で活動した。代替活動には、自宅で手紙を書いて届ける活動、簡易防護服（ビニールエプロン）を製作して届ける活動、オンラインを通じて施設利用者と交流する活動など、施設や施設利用者との距離をとった活動が挙げられる。

(昭和57年より実施し、令和4年度41回目)

#### 参加者数

【申込者数】 1,206名

【活動者数】 606名

内訳	中学生	119名
	高校生	480名
	大学生	7名

事前研修会 県内10ヵ所

活動期間 8月1日(月)～30日(火)



#### 【成果】

昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止を重点に置いた夏のボランティア活動体験となった。施設での活動ができた参加者は、福祉の仕事を間近で見ることで「ボランティア」や「福祉の仕事」に関心を持つきっかけとなっていた。また、施設外（在宅など）で活動した参加者は、施設での活動ができないことを残念に感じながらも、施設に行かなくても気持ちが届くようにと丁寧に活動をしていた。また、感染症の心配がなくなった時には施設の方に会いに行きたいという声が多く聞かれた。

### 2. 青少年の異文化交流体験事業

#### 第34回海外でのボランティア活動に学ぶ高校生スタディツアーアジア

(静岡リバティライオンズクラブ共催事業)

広く海外に目をむけ、実際に現地を訪れ、文化・生活様式の異なるタイの農村やバンコクで、同世代の青年たちが交流し、その国や人々の抱える様々な問題を自分達を含め地球人のすべての問題として捉え、「ボランティア」「国際交流」「国際協力」のあり方を学ぶ機会とする。

新型コロナウイルス感染症の影響によりタイに出かけて行くスタディツアーハーを実施することが困難であったため、ICTを活用し、オンライン訪問・オンライン交流を取り入れた研修会を実施した。

【参加者数】 9名

#### 【内容】

研修会 10月9日(日)、11月6日(日)、12月26日(月)

いずれも10:00～17:00

ふりかえりの会 令和5年1月8日(日) 10:00～12:00

報告会 令和5年1月8日(日) 14:00～16:00

**【成果】**

海外に行くことができないなか、オンラインを通して現地の団体や学生との交流ができ、参加者は視野を広めるきっかけとなった。また、日本とタイ国スリン県タクラーン村（ゾウの村）との交流において、互いが関心を持つ社会問題の発表を行った。自分達とは異なる価値観に触れて、自分達の身の回りにある社会問題に目を向ける大切さを感じたようだった。

**3. TOMOSHI BI プロジェクト「東北スタディツアーア」**

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

東日本大震災から11年が経過し、被災地に限らず震災後に生まれた子どもたちが増え、震災を伝承していく取り組みが求められている。あの日起きたことを知り、被災地の今を学ぶことで、静岡の防災のこれからを考えるために、被災地の震災伝承施設等を訪問し、生の声を聞くスタディツアーアを実施した。

**【スケジュール】**

事前学習会	7月31日(日) 絵本「あの日」読み聞かせ 静岡県地震防災センター見学と演習
現地研修	8月9日(火)～12日(金)
フォローアップ	8月25日(木)、9月11日(日) かべ新聞作成他
体験報告会	9月23日(金・祝) 成果発表とゲストトーク ゲスト 八木澤弓美子さん (おおつちこども園園長)

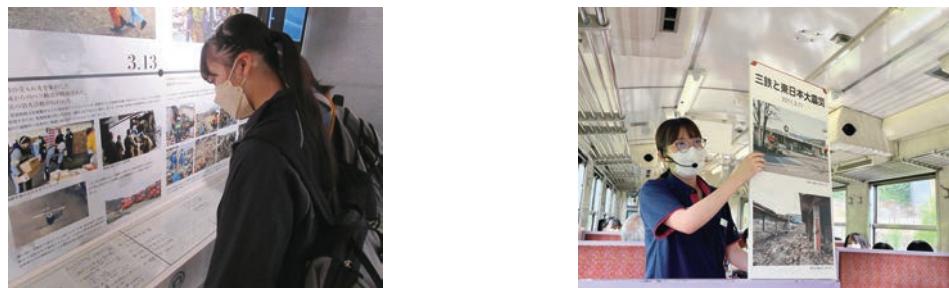
**【参加者】** 21名（高校生19名、一般1名、事務局3名）

**【訪問先】**

大槌町：城山公園、おおつちこども園、大槌町文化交流センター「おしゃっち」、蓬莱島  
釜石市：釜石鵜住居復興スタジアム、釜石祈りのパーク、いのちをつなぐ未来館  
陸前高田市：東日本大震災津波伝承館「いわてTSUNAMIメモリアル」、奇跡の一本松  
宮古市：たろう潮里ステーション、たろう観光ホテル、浄土ヶ浜  
遠野市：遠野市後方支援資料館  
三陸鉄道「震災学習列車（鵜住居駅→宮古駅）」

**【成果】**

2～3人が1組のバディとなり、事前に学習テーマを決めて現地研修に臨んだ。報告会では震災遺構や伝承施設での講話や、実際に避難経路を辿るなどして当時の様子を追体験することで感じた「いのちを守る」ことや「防災の大切さ」について発表した。作成したかべ新聞はシズウェル2階ボランティアビューロー前の廊下に展示している。



#### 4. 高校生・大学生と共に創る「共生社会づくり」

(静岡県共同募金課題解決プロジェクト募金助成事業)

次代を担う若者たちと、社会にあるさまざまな福祉課題を共に考える「学びの機会」を作り、共に「共生社会づくり」を考えるために静岡県共同募金会が実施する「課題解決プロジェクト募金」に参加し、67件の個人・団体の皆さまにご支援いただいた。

今年度は「みんなが笑顔になれる社会がいいよね」をテーマに住みなれた地域や自分が暮らしたい地域で共に暮らしていくにはどうしたらいいかを考えるフォーラムを開催した。

【日時】令和5年2月23日(木・祝) 13:30~17:00

【会場】静岡県総合社会福祉社会館6階601会議室

【内容】・映画「梅切らぬバカ」上映会とゲストトーク

ゲスト：杉山元太さん

((特非)ひまわり事業団静岡障害者自立生活センター当事者スタッフ)

三嶽順也さん

(特別養護老人ホーム龍爪園コミュニティソーシャルワーカー)

・グループワーク

【参加者】42名

##### 【成果】

高齢の母親と自閉症を抱える息子が社会の中で生きていく様を描いた映画から、地域で暮らしていくために欠かせないコミュニケーションについて考え、グループワークでは、映画の感想やそれぞれの思いが積極的に意見交換された。

自立生活をする障害者側の考え方と、配慮を必要とする方へ支援する側の考え方をゲストお二人のお話を聞くことで「共生社会」へのヒントをもらうことができた。



## II. ケアの文化を社会に浸透させていく取り組み

### 「ケアする人のケア」を学ぶ会 2022

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

さまざまな困難を抱えた人たちへのケアと、その人たちを支える側にいる“ケアする人”へのケアの実践や命の大切さを学び、みんなで支え合う地域や社会づくりを考えることを目的に、ケアの最前線に立つ講師による講座を開催した。 (公財)静岡県労働者福祉基金協会共催事業

#### 【第1回】

開催日：10月29日(土) 14:30～16:30  
 会 場：ALWFロッキーセンター大会議室  
 講 師：沖 侑香里さん（静岡きょうだい会代表）  
 内 容：「ヤングケアラー～家族の介護やケアを担う子ども・若者たち～」  
 参加者：30名

#### 【第2回】

開催日：令和5年1月21日(土) 14:00～16:00  
 会 場：ALWFロッキーセンター大会議室  
 講 師：内藤いづみさん（ふじ内科クリニック院長）  
 内 容：「『動の祈り、静の祈り』佐藤初女さんから学んだこと。」  
 参加者：49名

新型コロナの感染状況が落ち着きを見せ、第1回、第2回とも予定どおりリアル開催ができた。それにより会場の一体感が生まれ、また、講師の声が持つ力が直に伝わり、参加者の学びや想いがより一層深まった。



## III. 大規模災害に備えたボランティア活動体制を整備する取り組み

### 1. 南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク事業

東海地震を含む南海トラフを震源とする巨大地震等の大規模災害に備え、“支援から取り残される地域をつくらない”ためのボランティア活動体制と広域連携のしくみを具体化させることを目的に事業を実施した。

## (1) 南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会

(静岡県労働者福祉基金協会助成事業)

大規模災害時のボランティア活動に関する受援体制づくりと広域連携のあり方について検討し、平時の取り組みを具体化させていくことを目的に標記委員会を開催した。

委員数：23名（うち新任4名）

委員長：岩田孝仁さん（静岡大学防災総合センター特任教授）

会 場：静岡県総合社会福祉会館2階ボランティアビューロー他

※第1回のみオンライン併用

開催日・出席者数

<第1回>7月12日(火)・23名（会場20、オンライン3）

<第2回>令和5年1月17日(火)・22名

<第3回>令和5年3月22日(水)・21名



主な内容

### 【第1回】

・令和3年7月豪雨災害に関する情報共有、報告

・県災害ボランティア本部・情報センターが必要とする

「人、情報、資金」などの具体的な検討に向けた協議について

### 【第2回】

令和4年台風第15号による被害に対する支援活動報告

### 【第3回】

令和4年台風第15号被害に対する支援活動報告会

社協、行政、災害ボランティア団体などに案内し、拡大委員会として開催。

参加者53名（ネットワーク委員会21名を含む）

<報告>静岡県災害ボランティア本部・情報センター

しづか・まめっ隊（千代幸嗣さん）

静岡市役所市民自治推進課（田中雄基さん）

磐田市社会福祉協議会（大杉昌弘さん）

<特別講演>（特活）全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

事務局長 明城徹也さん

◇台風第15号被害に対する支援活動では、県災害ボランティア本部・情報センターをはじめ、委員会の参加組織・団体間で、直接・間接に日頃のつながりが活かされる場面が増えた。

◇第3回を拡大委員会として実施した報告会は、関係者が令和4年台風第15号被害での多様な主体による支援活動とその成果・課題を共有し、今後の災害に備えた取り組みを考える学びの場になった。

◇事務局が台風第15号による被害への対応に追われ、委員会開催の延期や変更をせざるを得なかった。また、令和3年7月豪雨災害を受けて災害発生時には委員会の緊急会議を開催するとなつたが、初動期に緊急会議を開催することは時間的、人的に難しかつた。

◇これまでの委員会で積み重ねてきた議論の整理ができなかつた。台風第15号被害に対する活動のふりかえりも踏まえ、支援体制の課題解決につなげていくことが必要である。

## (2) ボランティアによる災害時の要配慮者支援をともに考える事業 「災害時の知恵ぶくろ～要配慮者支援編～」

(静岡県共同募金会配分金事業)

地域で暮らす高齢者や障害者の中には、平常時においてもさまざまな困難を抱えていることが多い。災害が発生すれば困難な状況はさらに深刻になる。こうした命の危険にさらされることが多くなる高齢者や障害者など「要配慮者」と呼ばれる人たちをどのように支えることができるのかを、具体的なケース事例から検討を重ね、地域における要配慮者への支援体制づくりを考える研修会を開催した。

この事業は3年計画で実施する取り組みであり、1年目となる今年度は「気づく眼」を持つために課題の発見と整理に焦点をあてて取り組んだ。

**【日時】**令和5年3月18日(土) 10:00~16:00

**【会場】**静岡県総合社会福祉会館7階703会議室

**【内容】**プログラム①「台風第15号、あの日、あのとき」

ゲスト：栗田健三さん（特別養護老人ホーム有度の里所長）

山本敏久さん（介護プラン虹介護支援専門員）

浦野 愛さん（(特非)レスキューストックヤード常務理事）

プログラム②ワークショップ「要配慮者の課題に気づく眼～地域で共に生きる～」

講 師：渡邊麻由さん（静岡県社会福祉協議会、ケアマネージャー）

**【参加者】**99名

### 【成果】

令和4年9月の台風15号災害で被災した高齢者施設職員らの体験を伺う中から、「要配慮者」支援に必要な目線と、ケースメソッド（ワークショップ）をとおして、それぞれの背後に隠れている課題に「気づく眼」を持つことの大切さを学び、考える機会となった。

次年度は、この研修会で「気づいた」課題の解決方法を検討・検証していく。



## IV. 中間支援組織として「つなぐ」活動の取り組み

### 1. 静岡県総合社会福祉会館ボランティアビューロー管理者としての活動

ボランティアビューローは、ボランティア・市民活動団体の活動支援を行う機能を持ち、60名の定員で研修や会議、ボランティアの交流会などに利用してもらえる場を提供している。また、南海トラフ巨大地震などの大規模災害時には「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」としての活動を行う場所となる。

#### ■令和4年度ボランティアビューロー利用状況

利用件数：285件

利用人数：2,855人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	22	23	17	17	24	20	31	28	34	35	16	18	285
人数	197	269	136	120	200	284	610	322	198	256	113	150	2,855

## 2. ボランティア相談支援事業等

### (1) ボランティア相談支援

日常的に寄せられる相談内容は多岐にわたる。個人の「ボランティアしたい」から福祉施設等の「ボランティアがほしい」、ボランティアグループの活動上の相談などもあるが、個人の生活に関する相談やどこにも行き場がなく本協会に問い合わせをしてきたケースも見られる。専門的な知識を身につけ、専門機関へつなぐことが今後ますます必要になってくる。以下、寄せられた相談の中でケース記録化したものを報告する。

<相談受付件数> 25件（記録化したもの）

(相談内容)	ボランティアしたい	4
	事業・講座実施相談	1
	問合せ（～について教えて欲しい）	5
	講師を紹介してほしい	4
	協会事業について教えてほしい	1
	その他	10

<相談者区分内訳>

相談者区分	件数
個人	8
施設・福祉団体	2
行政	2
社協	3
企業・労働組合	6
VG	1
学校・生徒会	2
その他	1
総計	25

<市町別相談者>

東部		中部		西部	
富士	1	静岡市葵区	9	浜松市中区	2
伊豆の国	1	静岡市駿河区	2	袋井市	1
小計	2	静岡市清水区	1	御前崎市	1
		静岡市(区不明)	2	小計	4
		焼津市	1		
		藤枝市	1		
		島田市	1		
		小計	17		

県外	2
総計	25 件

### (2) 教育現場におけるボランティア学習の啓発・推進

新型コロナウイルス感染症の影響により、どのようにボランティア活動を行うか模索する状況が続く。感染症対策に配慮した「サマーショートボランティア活動計画」や「ボランティア参加促進」には多くの参加申し込みがあった。また、学校や自宅で取り組める活動として「切手コツコツ整理ボランティア」に取り組む個人・団体も多かった。福祉の学習資料を求められた際にはボランティアガイダンスを提供し、わかりやすいと好評を得た。

### (3) 大型リフトバス「ふじのくに愛輪号」の運行管理

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

主に移動障害を持つ方々の当事者団体や施設、ボランティアグループなどが、研修や旅行等の際の移動手段として利用できる大型リフトバスの運行管理を行った。

リフトバスの運行開始から45年、移動に困難を持つ方々を取り巻く状況や社会は大きく変化し、近年は利用件数も減少の一途を辿っていたが、続くコロナ禍が追い打ちをかけ、この3年間は利用が皆無に等しい状態が続いていた。今後も利用の回復は見通せず、安全運行に不可欠な維持管理のための財源確保も大変厳しいことから、リフトバス運行事業は令和4年度をもって終了した。

利用団体、運転ボランティアをはじめ事業を支えてくださった多くの方々のおかげで、長きにわたり大きな事故もなくリフトバスを運行することができたことに心より感謝したい。

## 1. 運行実績

### (1) 通常運行

運行件数：5件、運行日数：5日、  
利用団体数：3団体、利用者数：のべ96名、  
ボランティア数：のべ10名、  
主な利用団体：障害者団体

### (2) 台風15号被災地支援

磐田市災害ボランティアセンターの依頼で、  
9月30日(金)、10月8日(土)にボランティアの送迎支援を行った。



## 2. リフトバス感謝の集い

利用団体や運転ボランティアの皆さんにリフトバス運行の終了を報告し、これまでの感謝を伝えるため、令和5年3月21日(火・祝)、静岡市番町市民活動センターにて「リフトバス感謝の集い」を開催、運転ボランティアや利用団体など28名の参加をいただいた。

## (4) ボランティア活動参加促進事業

(静岡県共同募金配分金事業)

本事業は、働く世代の方々や学生をはじめ、一般市民を対象に、ボランティア活動への興味・関心を高め、参加意欲を喚起すること、身近なボランティアに参加するきっかけをつくり、地域の一員として社会の課題解決に取り組み、ボランティア・市民活動への参加を促進することを目的に実施した。

### (1) みんなで海を守ろう！海岸清掃ボランティア募集！

【日時】5月22日(日) 9:30～12:00

【内容】海岸でのごみ拾い、清掃活動。

会場・・・静岡市清水区蒲原海岸

参加者・・・100名



### (2) 思いやりいっぱい！バザールボランティア募集

【準備】10月3日(月)～14日(金) 10:00～16:00 (品物の仕分け等)

【前日】10月21日(金) 16:00～17:00 (おまつりの最終準備)

【当日】10月22日(土) 8:30～16:00 (おまつりの運営、片付け)

会場・・・準備・前日：県総合社会福祉会館 2Fボランティアビューロー

当日：県総合社会福祉会館 1F・6F

参加者・・・のべ142名

(3) 3月11日キャンドルナイトに参加して東北に思いを寄せる1日を過ごしませんか？

【日時】3月11日(土) 13:00~17:00

【内容】・被災者支援団体「しづおかおちゃっこ会」の活動を知ろう

・キャンドルナイト2023運営をお手伝いしよう

会場・・・静岡市葵区常磐公園

参加者・・・40名



#### 【成果】

ボランティアをしたいができない、社会とつながりたいが機会がないという人が多く参加されていた。そうした気持ちのある方が、さまざまな年代のボランティアと交流しながら活動する機会を設けることができた。

### (5) ボランティアガイドンスの作成

(静岡県共同募金配分金事業)

ボランティア活動に関心を持つ人たちや、実際に参加する人たちに心構えや活動を紹介し、活動していくまでの手引書としてもらうことを目的に作成・配布する。

内 容：I はじめてのボランティアのために

II ボランティアのこころえ

III タイプ別活動先紹介

IV 障害をもつ方と接するときに

V 福祉の仕事について

VI 参考資料

・収集活動～収集先のご案内～

・災害ボランティアをしたい！と思ったときに

・ボランティアの用語

・からなずボランティア保険に加入しよう!!

・県内の社会福祉協議会・ボランティアセンター一覧

## 3. 市民活動サポートセンター事業

### (1) 市民活動に関する助成金情報をはじめとした情報収集と提供

助成金情報、研修情報をはじめとする市民活動支援のための情報、企業の社会貢献活動、行政における市民活動支援に関する情報を収集し、提供した。

### (2) ボランティアコーディネート研修会

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

ボランティア・市民活動の裾野を広げるための人材育成を行う。市民活動センターや社協ボランティアセンター職員、福祉施設などのボランティア受入先などを主な呼びかけ先とする。

新型コロナウイルス感染症第7波により感染者が増加傾向にあったため、参考型ではなく、ボランティアを受け入れる福祉施設等に受入れの手引きを配布し、活動のあり方や新しい受入れのあり方を提案するなどして、コロナ禍でのボランティア活動について考える機会を作った。

ボランティア・市民活動の裾野を広げるための人材育成を行う。市民活動センターや社協ボランティアセンター職員、福祉施設などのボランティア受入先などを主な呼びかけ先とする。

### (3) ソーシャル・ファシリテーション講座2022

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

ボランティア団体・市民活動団体や地域組織などの活動者が、「ともに集いあう」「聴きあう」「学びあう」場づくりのためのソーシャル・ファシリテーションを学び、活動をより活発化させ社会的課題に取り組んでいくことを目指し実施した。

日 時：12月10日（土）・11日（日） 10：00～16：00 \*2日間の連続講座

場 所：静岡県総合社会福祉会館2階 ボランティアビューロー

講 師：鈴木まり子さん（特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会 フェロー）

参加者：18名

所属…ボランティア・市民活動団体、地域組織（民生委員、防災指導員）、  
地域包括支援センター、大学（学生）、病院など

内 容：「話し合う力」で災害に備えよう！～熱海土石流災害の事例から学ぶ～

令和3年7月に起きた熱海市土石流災害を主な事例に、災害時の話し合いや関係づくりを促すファシリテーションの基礎とソーシャル・ファシリテーションの考え方を学び、災害に強い地域づくりや、いざという時に活かせるスキルとマインドを、実践を通して身につける座学とワークショップを行った。

#### 【成果】

所属、活動分野、災害への関りもさまざまな参加者が、  
講師の豊富な経験に基づく具体的な事例を交えたわかりやすい講話とワークショップを通して、“災害”を  
切り口にファシリテーションの基礎とソーシャル・  
ファシリテーションの考え方を学んだ。小規模の講座  
となつたが、参加者ひとり一人の時間がより濃いもの  
となり、少人数ならではの学びを共有することができた。



### (4) 第39回ボランタリズム推進団体会議 in 東京（通称：民ボラ）

「全国ボランタリズム推進団体会議」（通称：民ボラ）は、ボランタリーに市民活動を進めようとする団体・人々が集い、相互研鑽を進める場である。「ボランタリズム」「市民参加」「共感力の向上」をキーワードに、ボランティアや市民活動推進に関わる関係者が全国から集い、1983年以降、ほぼ毎年開催されている（2020年のみコロナ禍により翌年に延期された）。今年度は、東京ボランティア・市民活動センターを事務局に、会場とオンラインによるハイブリッド形式にて開催された。

○開催日時 5月28日（土）13：00～18：15、5月29日（日）9：15～13：15

○全体会ならびにテーマ別セッションのテーマ

#### <基調発題>

- ・市民ジャーナリズムは社会を変えられるか？～SNS時代の市民による発信を考える～

#### <テーマ別セッション>

- ①アドボカシー「黙認から発信、そして行動へ」
- ②子ども・若者が発信する！～想いを社会に届けるためにできることを考える～
- ③市民調査の倫理と実践～いい意味で「あざとい」調査とは～
- ④市民活動の価値観とビジョンを問う～ごちゃまぜ「市民社会」激論大会～

#### <クロージング全体会>

- ・国際的な市民のつながりを考える～市民社会、分断と暴力の罠にはまらないために～



## (5) 県民の日イベント「フェスタシズウェル2022」

静岡県総合社会福祉会館（愛称「シズウェル」）をより多くの人に知ってもらい利用してもらうために、会館入居団体で実行委員会を組織し開催するイベントであるが、新型コロナウィルス感染拡大により、昨年度に引き続き今年度も中止となった。

## (6) カレーズの会への活動支援協力

認定特定非営利活動法人カレーズの会は、任意団体として発足した2002年4月よりアフガニスタン・イスラム共和国南部のカンダハール市で医療と教育の支援を続けている。

2021年8月のタリバンによる政権掌握から、1年8ヵ月が経過した。未だにタリバン暫定政権を政府承認する国ではなく、国際社会による経済制裁は継続されている。それに伴う金融危機、経済危機により、アフガニスタンの2021年GDP（国内総生産）成長率はマイナス20.7%と国連開発プログラム（UNDP）は報告している。

国の経済を立て直す為に、関税の引き下げによる貿易促進や、汚職対策を強化などに取り組んでいるが、同時に女性の教育や就労に関して、国際社会の説得にも関わらず、未だ厳しく制限を課している。女性は中等・高等教育から締め出されており、義務教育（1年生～6年生）

以外は通学禁止である。就労に関しては、2022年12月より人道支援を行う国連機関や国際NGOに対しても女性スタッフの出勤停止を命じているため、国連は強く反発している。その為、以前のような国際社会によるアフガニスタン支援は再開されていない。

その様な中、カレーズの会は民間NGOとして、カンダハール市での診療所を通じて無償の医療サービスの提供を滞ることなく続けている。現在は39名の現地スタッフ（11名は女性）が活動しており、2022年度の受診患者数は38,233名、2002年からの累計患者数は73万人を超えており。15歳以上の女性患者が62%を占めるため、出産介助にも力を注いでいるが、女医・助産師による出産介助により2022年度には686名の新生児が診療所で生まれた。

又、食料難から栄養不良に陥った妊婦や幼児を対象に、2023年1月からは「栄養不良補助



「食料プログラム」として、大麦や食料油、米、豆などの食料配布をスタートした。2023年1月から3月末までの期間で132名に203セットの食料パックを無償提供した。

2022年度の正会員数は個人216(251口)、団体9(12口)、賛助や学生を含む総会員口数は299口となった。一方、一般寄附、マンスリーサポーター寄附、特別募金(夏季及び年末年始)、指定寄附金(出産介助)、物品寄附等の件数は合計で1,750件であった。



#### 4. 研修・養成事業

##### 第44回静岡県ボランティア研究集会

(静岡県労働者福祉基金協会助成事業・静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業)

テーマ：すてきな出逢い・そだてるこころ・のびのびと

明日のボランティアにつなげていこう

静岡県内でボランティア・市民活動に関心を持つ人たちや、実際のボランティア活動に参加している人たちが一堂に会し、情報交換や話し合いを通してお互いの活動に関する学習を深めるとともに、ボランティア同士のネットワークづくりを推進することを目的に開催した。

主 催：特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
公益財団法人静岡県労働者福祉基金協会

共 催：社会福祉法人静岡県社会福祉協議会  
社会福祉法人裾野市社会福祉協議会

実施主体：第44回静岡県ボランティア研究集会実行委員会

後 援：静岡県・静岡県教育委員会・  
裾野市・裾野市教育委員会

日 時：2月19日(日) 10:00～16:00

会 場：裾野市生涯学習センター・裾野市民文化センター

内 容：オープニング ボランティア団体・ハンドベルリンクガーズRIN-RIN-RINによる  
ハンドベル演奏

開会挨拶 静岡県労働者福祉基金協会副理事長 池田正典  
第44回静岡県ボランティア研究集会実行委員長 林孝至  
裾野市長 村田悠様



基調講演 「ヤングケアラー～家族の介護やケアを担う子ども・若者たち～」

講師 沖侑香里さん(静岡きょうだい会 代表)

閉会挨拶 挨拶 静岡県ボランティア協会 理事長 小野田全宏  
裾野市社会福祉協議会 会長 杉山千恵  
次回開催地(静岡市)へのバトンタッチ

分科会(7分科会)

第1分科会(ボランティア)

ボランティアって何？ 話し合いの中で何かをみつけよう

第2分科会(若者とボランティア)

気がつけばボランティア

第3分科会（ヤングケアラー）

一緒に考えましょう。身近にいる「ヤングケアラー」との関わり方  
第4分科会（災害）

災害ボランティアの広域ネットワークの構成について  
第5分科会（LGBTQ）

LGBTQって？ 多様性を認め合える社会へ  
第6分科会（こども食堂／子どもの居場所づくり）

子どもの居場所づくり～子ども食堂～

第7分科会（SDGs）

SDGsで出来るボランティア（傾聴）  
～おみやげは“笑い”と“ありがとう”～

参加者数（関係者含む）：317名（のべ人数）

**【成果】**

裾野市を中心に県東部で活動するボランティアらが中心となって実行委員会を組織し、7月より会議を重ねてきた。林孝至実行委員長のもと、活動を通じて課題を感じていることやそこに対してボランティアができるか、どんなメッセージを参加者に伝えたいかなど意見交換をしながら、集会づくりを行ってきた。

地域でボランティア・市民活動に参加している人たちが集い、講師・助言者らのお話や、参加者同士の意見交換、情報交換を通して互いのボランティア活動の学習とつながりづくりの機会とすることができた。

## 5. 広報誌発行事業

### 機関誌の発行

会員はじめ関係機関等に対し、協会の事業や活動をPRするとともに、活きたボランティア情報を提供する。

**【ボランティア情報静岡】**

令和4年度は、年間4回（春号・夏号・秋号・冬号）の季刊発行。特集では、協会の事業や取り組みをより詳しく報告し、ボランティア活動・市民活動に役立つ助成金や講座情報などを掲載。各号1,200部発行する。

**【ぼらんていあMa i l】**

会員に対し、事務局の1ヶ月の動きや予定を紹介する。職員のコラムや最新の取り組みなどを掲載することで、ボランティア協会をより身近に感じていただく。  
年間12回、毎月500部発行する。

## 6. 情報提供事業

### ホームページの運用・管理

本協会の主催・共催事業の要項掲載並びにウェブ募集、ボランティア募集情報や助成金、研修会情報などを掲載し、ボランティア・市民活動者への情報提供を行う。

## 7. 静岡市番町市民活動センター指定管理事業

(静岡市委託事業)

市民活動に対する意識を高め、新たな市民活動団体やNPO団体の萌芽や発展を促し、さらに充実していく過程を支えていくことが市民活動センターに求められている役割と考え、これまでどおり、人と人、団体と団体などをつなぐ「市民活動の仲間づくり」に取り組んできた。さらに、「SDGs未来都市・静岡市」の普及啓発のために、令和2年度から行っている市民プロジェクト「まあるいしづおか」を継続して行い、「私たちの日々の行動が未来につながっている」ことを意識した行動への変容を促す取り組みに努めた。

### (1) 利用状況

	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9
開館日数	28	29	28	29	29	28
利用人数（人）	2,396	2,386	3,252	2,198	1,922	2,169
利用件数（件）	818	804	785	692	695	708
新規登録団体数	1	4	6	1	0	1

	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	合計
開館日数	29	28	26	26	26	29	335
利用人数（人）	4,038	2,599	2,526	2,218	2,663	2,769	31,136
利用件数（件）	847	778	780	772	822	838	9,339
新規登録団体数	4	2	0	3	3	6	31

センター利用登録団体数：886団体（参考：令和3年度末：855団体、令和2年度末：836団体）

### (2) 情報提供

情報誌「ばんたび」、広報誌「かわら版」（ともに年4回）、メールマガジン（月2回）の発行と、ホームページやSNSを通じて、センターで開催する講座やイベント案内や利用団体の情報発信を行い、市民活動の推進を図る。

### (3) 市民活動に関する相談に関するここと

	R4. 4	R4. 5	R4. 6	R4. 7	R4. 8	R4. 9
相談件数	24	16	20	14	21	12

	R4. 10	R4. 11	R4. 12	R5. 1	R5. 2	R5. 3	合計
相談件数	9	8	14	20	20	16	194

NPO設立や運営上の相談をはじめ、資金・人材確保や協働事業の提案など、さまざまな内容の相談に対応した。

### (4) 市民活動に関する講座等の実施

#### ① 啓発講座

「まあるいしづおか・えもなトーク」

〈1〉第11回「半径2メートルから世界を変える～地球と世界をつなぐSDGs～」

開催日：4月22日（金）

トークゲスト：木下聰さん（しづおかSDGsネットワーク代表）

参加者：23名（会場16名、オンライン7名）

〈2〉 第12回「アートと音楽で人はつながる！」

開催日：5月27日(金)

トークゲスト：Corey Turpinさん (YNI JAPAN合同会社 代表)

参加者：35名（会場 23名、オンライン 12名）

〈3〉 第13回「お寺は感情の交差点～地域とお寺のちょっといいお話～」

開催日：6月24日(金)

トークゲスト：丹羽 崇元さん (庵原山一乗寺住職)

参加者：38名（会場 22名、オンライン 16名）

〈4〉 第14回「竹に導かれて広がるご縁」

開催日：7月29日(金)

トークゲスト：松澤 圭子さん (自然塾 竹部 (ばんぶ) )

参加者：35名（会場 21名、オンライン 14名）

〈5〉 第15回「風の時代を駆け抜けよう～働き方の選択～」

開催日：9月30日(金)

トークゲスト：寺尾依左央さん (もくぺれ代表)

参加者：21名（会場 20名、オンライン 1名）

〈6〉 第16回「The beginning of the play」

不確かな未来・うつろう今の中で描き出すもの。演劇」

開催日：11月25日(金)

トークゲスト：大石 宣広さん (一般社団法人静岡アート支援機構代表理事・俳優)

参加者：23名（会場 20名、オンライン 3名）

〈7〉 第17回「動物のお医者さんと考える命の不思議」

開催日：令和5年1月27日(金)

トークゲスト：金井 将昭さん (獣医師・Honey Children 理事)

参加者：32名（会場 23名、オンライン 9名）

〈8〉 第18回「自分たちでつくった学び場、R30研修で得たもの」

開催日：令和5年2月24日(金)

トークゲスト：HARADAグループ R30の皆さん

参加者：32名（会場 19名、オンライン 13名）

〈9〉 第19回「コロナの危機だからこそ、『学び』のためにできること

～オンラインで繋がる、繋げる、障害のある子どもたちの『学び』～」

開催日：令和5年3月24日(金)

トークゲスト：濱松 若葉さん (Learning Crisis研究会 学びの危機プロジェクト)

参加者：23名（会場 13名、オンライン 10名）

## ② 団体・人材育成講座

〈1〉 『Zoom』と『FBLive』を知ろう！学ぼう！

開催日：6月9日(木)

講師：倉橋賢広、高橋晃一郎 (番町市民活動センター)

参加者：14名

〈2〉 番町防災W.S.～災害時に起こることを自分の中に具体的にイメージして避難計画をつくる～

開催日：7月16日(土)

ゲスト：大石 學さん (清水災害ボランティアネットワーク)

参加者：24名

〈3〉 インボイス制度&改正電子帳簿保存法説明会

開催日：8月12日(金)

講師：和久田修平さん（静岡税務署 法人課税第1部門 国税調査官）

参加者：17名

- 〈4〉 「番町防災の日」地域の目線に合わせる復興へ

開催日：令和5年2月18日（土）

ゲスト：前原 土武さん（災害NGO結代表）

参加者：43名



### ③ 協働主催講座

- 〈1〉 「まあるいしづおか・水をめぐる冒険 森の巻「安倍川源流ツアー」」

開催日：6月12日（日）

参加者：11名

協働パートナー：榎プロジェクト

- 〈2〉 「WARA IMA SHOW ~音楽とお話の会~」

開催日：6月18日（土）

参加者：800名

協働パートナー：WARA IMA SHOW 実行委員会

- 〈3〉 「まあるいしづおか・水をめぐる冒険 海の巻『かわなび見学会』」

開催日：8月21日（日）

参加者：22名

協働パートナー：榎プロジェクト

- 〈4〉 「まあるいしづおか・えもなトーク&ライフデザインはたカフェ」

開催日：9月4日（日）

参加者：23名

協働パートナー：（一社）ソーシャルビジネスネットワーク・静岡市商業労政課

- 〈5〉 「パラスポーツ体験会」

開催日：10月2日（日）

参加者：94名

協働パートナー：NPO法人静岡FIDサッカー連盟・さくらの架け橋会

- 〈6〉 「まあるいしづおか・水をめぐる冒険～まちの巻～」

開催日：11月6日（日）

参加者：15名

協働パートナー：榎プロジェクト

- 〈7〉 「まあるいしづおか・水をめぐる冒険～川の巻～」

開催日：11月20日（日）

参加者：15名

協働パートナー：榎プロジェクト

- 〈8〉 「『番町防災W.S.』みんなで話す台風15号と“これから”」

開催日：令和5年2月3日（土）

参加者：21名

協働パートナー：静岡2.0

〈9〉 「番町防災W.S.」 落語×被災ゴミ

開催日：令和5年3月2日(木)

参加者：19名

協働パートナー：(一社)しづおか住環境防災サポートセンター

#### ④ 共催講座、共催事業

入居団体や利用団体との共催講座を開催し、番町市民活動センターにおける多様な市民活動団体の支援を行い、広い市民に市民活動の多様性を理解してもらうことができた。  
令和4年度に共催した講座は全17講座であった。

#### ⑤ 周年行事

##### 「番町学園祭13th NEXT STAGE 一番星を探しに行こう！」

開催日：10月16日(日) 10:00～15:00

長く続くコロナ禍で、対話、いや普通の会話でさえも減りがちな日々が続き、元気がなくなってしまった人々も多い世の中で、番町学園祭のような「がんばっているNPO市民活動団体の活動を知ることができる」「新しいことを知ることができる」と心もワクワクし、人と人が顔を合わせて会話のできる場としても提供したいと強く思い「番町学園祭」を企画した。

(実行委員会 15団体／委員 22名・出展&出店 33団体)

##### 【メッセ部門】

メッセ（市民活動見本市）は5つのエリアに分けて、合わせて19団体の出展会場は、体育館と1階大会議室を使用。

「子どもの森」：木のぬくもりにさそわれて、子どもも大人もほっとひと息。あそびにおいて。  
(参加団体) 5：あずきっず、NPO法人子ども虐待防止センター・しづおか、柿プロジェクト、  
NPO法人トリプルエス、ライフデザイン

「わかものエリア」：あなたとつながる、最初の一歩。「学び」・「つながり」をテーマに  
静岡で市民活動を行う団体。パネルディスカッションにご参加の方に「学び」  
を支えるコーヒーまなキキ・ブレンドを一杯無料でお配りします。  
(参加団体) 4：静岡2.0、寺子屋ベース、まなキキプロジェクト、YokaYoka

「SDGsエリア」：未来につながるアクションの一番星を探しに来てください！  
(参加団体) 5：cocore、350Shizuoka、生活クラブ生協、日興美術株式会社、  
まあるいしづおかステップアップ委員会

「ぼーさい防災エリア」：台風15号の被災から学ぶこと。他  
(参加団体) 4：(一社)しづおか住環境防災サポートセンター、しづおかおちゃっこ会&  
訪問看護師、しそーか防災かるた委員会

「シニアエリア」：高齢者が安心して暮らせる社会を目指して3つの講演会を。  
(参加団体) 1：NPO法人助け合いネット静岡

##### 【パフォーマンス部門】

静岡楽喜笑いヨガクラブ（開校式）

静岡ハンディキャップ太鼓の会の和太鼓演奏（閉校式）

**【展示部門】**

(参加団体) 3 : 静岡市障害者協会、静岡市高齢者福祉課、赤い羽根共同募金会

**【マルシェ部門】**

(参加店舗) 9 : カフェドブラン、静岡ゆうきの会、ソラユラ、内牧パパイヤ農園、松永農園、パンと酵母と発酵と、百笑来love、ムッシュしむら農園、リアルフルードあくつ

特別協賛 : (一社)静岡県グリーンバンク

来訪者のべ1,570名



## (5) 関係機関、団体等との間の連携及び交流の促進

### 〈1〉 利用者会議

- ・9月17日(土) 八朔の宴 (利用者会議)  
昼の部 (参加者 16名) 夕の部 (参加者 13名)
- ・令和5年1月19日(木) 冬の宴 (利用者会議) (参加者 34名・26団体)

### 〈2〉 利用者アンケート

実施日 : 12月8日(木)～1月31日(火) 「利用者アンケート」 (回答数 230件)

### 〈3〉 運営委員会、拡大運営委員会

- ①5月11日(水)・②9月15日(木)・③12月8日(木)・④令和5年3月9日(木) (拡大運営委員会)
- 運営委員 : 静岡市ボランティア団体連絡協議会、静岡市社会福祉協議会、二番町自治会、NPO法人静岡FIDサッカー連盟、ママの部活動、柚プロジェクト、NPO法人ボランティア協会、番町センター

## V. 組織及び基盤強化を図る取り組み

### 1. 自主財源を確保していくための事業

#### (1) 会員管理・会員獲得

民間の市民活動・ボランティア活動推進機関として活動を続けるためには、多くの方に協会を知っていただくとともに、会費や寄付金収入など安定した財源の確保が不可欠であることから、年間を通じて本協会事業の参加者や関わってくださった方々に協力を呼びかけた。6月1日(水)～7月31日(日)の2ヵ月間を会員増強キャンペーン期間としたが、いずれの会費も目標には届かず全体の会費達成率は83%にとどまった。

## (2) ボラ協の夏のとくべつ募金・年末年始とくべつ募金

長引くコロナ禍でオンラインやリモートを活用した新しい生活様式が浸透している。現場に向こう、声を聞くことを大切にしながら活動に取り組む本協会において、令和4年度も事業の縮小や一部変更せざるを得ないこともあります、厳しい状況での事業運営となった。誰もが安心して暮らせる社会をめざし、人と人、心と心のつながりを大切に継続して活動を続けていくため、今年度も夏と年末年始のとくべつ募金を実施した。

### 【夏のとくべつ募金】

実施期間：7月1日（金）～9月30日（金）

協力依頼：協会会員、昨年度募金協力者、市町社会福祉協議会、  
市民活動センター、各事業でかかわったみなさま等

募金総額：57件 349,925円

### 【年末年始とくべつ募金】

実施期間：12月1日（木）～令和5年1月31日（火）

協力依頼：協会会員、昨年度協力者、機関誌配布先、社会福祉協議会、  
各事業でかかわったみなさま等

募金総額：75件 534,500円

## (3) 第38回ボラ協のしづおか福祉バザールinシズウェル ～思いやりつなげよう♪ボラ協あつたかまつり～

人と人との思いやりを感じられる場として、福祉バザール特別企画「思いやりつなげよう♪ボラ協あつたかまつり」を昨年に引き続き開催した。

ボランティアや市民活動団体に関わっていただき、ささやかながら人とふれあうぬくもりを感じられる場となった。



開催日： 10月22日（土）10：00～15：00

会 場： 静岡県総合社会福祉会館（シズウェル）

1階101・102・103・104会議室、6階601会議室

内 容： • 63件の個人・団体の方々からバザーの品物をご提供いただいた。

• 準備から当日の運営までに142名のボランティアの協力を得た。

• おまつりには福祉団体やフェアトレードに取り組む団体等に出展いただいた。

（参加団体） かぶとむしクラブ、草薙ファーマーズカフェ、しづおかおちやっこ会、

連合静岡金属部門連絡会、静岡県労働金庫&静岡県司法書士会

売上げ：221,650円

## (4) 課題解決プロジェクト募金

次世代を担う若者たちに、身近にある福祉課題を「知り」「考える」ことで、『困りごと』に気づく目を育てる『学びの機会』を作るために、今年度も静岡県共同募金会が実施する「課題解決プロジェクト募金」に参加し、目標額の達成にむけた募金活動に取り組んだ。

【実施期間】令和5年1月1日（日・祝）～3月31日（金）

【目標額】562,000円

【実績額】50件 357,349円

## (5) リサイクルでボランティアを応援

書き損じた年賀はがきや未使用のまま眠っているはがきの提供を呼びかけ、郵便局で新しい葉書や切手に交換し、情報提供や連絡調整など事業運営にあたる通信費とする。令和4年度は、46件の個人・団体より2,001枚の寄付をいただいた。

また使用済み切手の提供を呼びかけ、令和4年度は、164件の個人・団体より283.7キログラムの寄付をいただいた。いただいた切手は「切手コツコツ整理ボランティア」（37件の個人・団体）に135.1キログラムを整理していただいた。コロナ禍の中、自宅でできるボランティアとして関心を寄せていただいた。

## 2. 本業を活かした企業の社会貢献活動と連携

### 1本のジュースがVolunteerを応援

本業を活かした企業の社会貢献活動との連携として、清涼飲料水メーカーの協力のもとに、清涼飲料水の自動販売機を設置することでボランティア活動の支援につながる仕組み「1本のジュースがVolunteerを応援」に取り組んでいる。自動販売機の売り上げに応じて売上金の中から寄付をいただき、令和4年度は95台が稼働した。

#### 【協力企業】

ダイドードリンコ株／株伊藤園／東海ビバレッジサービス株／F V ジャパン株／サントリービバレッジサービス株

寄付金総額：1,032,691円

## 3. 理事会・定期総会の開催と事務局の連携

協会と協会組織の強化、充実を図るため以下のとおり理事会・定期総会を開催した。

#### 【定期総会】

開催日：5月16日(日) 13：30～16：15

会 場：静岡県総合社会福祉会館2階 ボランティアビューロー  
議案審議、引き続き45周年の記念講演を実施することができた。

演題「小さき人びとの声を集積する

～45年を迎えたボランティア協会に伝えておきたいこと～」

講師 一般財団法人奈良たんぽぽの会理事長／  
社会福祉法人わたぼうし理事長 播磨靖夫さん

#### 【理事会】

第1回 5月15日(日) 令和3年度事業報告、決算

第2回 10月27日(木) 中間総括・補正予算案等

第3回 令和5年1月26日(木) 令和5年度事業方針等

第4回 令和5年3月23日(木) 令和5年度事業計画案、  
予算案審議等



## VI. 緊急支援の取り組み

### 1. 令和4年台風第15号対応

令和4年9月23日(金・祝)の夜から24日(土)明け方にかけて、台風第15号の影響により、静岡県西部、中部、東部を中心に激しい雨が降り、広範囲で浸水や大規模停電などの被害が発生した。23市町に災害救助法が適用され、静岡県災害ボランティア本部・情報センターは台風第8号被害に引き続き支援を行った。※

#### 《ボランティア活動支援金》

協力者：112件 1,721,492円



#### 《あったか家電支援プロジェクト》

協力者：81件 1,907,786円

#### ○技術系団体との連携

現場で技術系団体のコーディネートに従事された前原土武さん（災害NGO結）と松山文紀さん（災害対応NPO・MFP）、照井佑徳さん（全国災害ボランティア支援団体ネットワークJVOAD）とその日の動き、課題、これから動きを連日協議した。

また、団体の活動や課題を共有するため、技術系NPO連携促進会議を実施した。

#### ○スマートサプライ

Amazonの「ほしいものリスト」を活用し、災害ボランティアセンターでの活動に必要なものを全国の方から支援していただく仕組みを導入。磐田市災害ボランティアセンター、静岡市災害ボランティアセンターが参加。ふじのくに未来財団、地域デザインカレッジと協働で立ち上げ、株式会社イワサキ経営に協力をいただいた。

#### ○あったか家電支援プロジェクト

静岡県社会福祉協議会と協働で1,000世帯に電気ストーブを届けるプロジェクトを立ち上げ、JVOADの支援とプロジェクトへの寄付金をもとに、清水区を中心とした半壊以上の被害を受けた1,000世帯に寄贈。配送については、静岡県電機商業組合に協力をいただいた。

#### ○みんなの居場所『ふらっと』

技術系ボランティアの活動が継続されていることから、その活動拠点として、また地域の被災された方々が気軽に立ち寄れる居場所となるよう、日本財団の助成を受け『ふらっと』の活動が開始した。

※台風第8号により松崎町雲見地区で浸水被害が発生。静岡県災害ボランティア本部・情報センターを立ち上げ、後方支援を開始。終息前に台風第15号により県内広域で被害が発生。台風第8号支援から引き続く形で台風第15号支援を開始した。

### 2. ウクライナ避難者への緊急支援対応

令和4年2月24日に始まったロシア軍のウクライナ侵攻で、日本も避難者の受入れを表明した。静岡県にも避難して来られた方がおり、同年4月1日に志を同じくする賛同団体と「ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA」を立ち上げ、静岡県に避難して来られた方々の支援を開始した。本協会はこの事務局を担う。

### 【ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA】

ウクライナから静岡県へ避難されて来られた方への支援を目的に活動。社協や市民活動団体、行政が情報を共有し、支援を行うための緩やかなネットワーク。

#### ○共同代表

- ・高橋 邦典（静岡県社会福祉協議会 常務理事）
- ・馬場 利子（プラムフィールド 代表）
- ・藤原 東演（サールナートホール 館長）
- ・小野田全宏（静岡県ボランティア協会 理事長）

#### ○賛同団体

- |              |                      |
|--------------|----------------------|
| ・プラムフィールド    | ・外国人就労支援機構           |
| ・サールナートホール   | ・静岡県国際交流協会           |
| ・静岡県社会福祉協議会  | ・静岡市国際交流協会           |
| ・浜松市社会福祉協議会  | ・ライオンズクラブ国際協会334-C地区 |
| ・聖隸福祉事業団     | ・静岡県労働者福祉協議会         |
| ・静岡県ボランティア協会 |                      |

### 【支援】

#### ○生活一時金、渡航費の一部補助

生活一時金：1世帯10万円（1回）

渡 航 費：1人5万円（1回）

※共同代表が面談し、手渡し。

#### ○緊急支援募金

継続的に活動をしていくため、緊急支援募金を呼びかけ。

234口（個人・団体）、9,877,763円（3月31日現在）

使途…生活一時金、渡航費、交流会等イベント運営費など

#### ○交流イベントの開催

避難された方同士の横のつながりを作ることやチャリティを目的に開催。

- ・第1回希望のつばさ交流会 6月12日（日）食事やビンゴゲーム （参加者 106名）
- ・チャリティコンサート 7月16日（土）小澤ファミリーによるコンサート  
（参加者 109名）
- ・チャリティ上映会 9月19日（月・祝）映画ピアノ上映会と  
堀内准教授による講演（参加者 112名）
- ・第2回希望のつばさ交流会 12月11日（日）みかん狩りと煎茶体験 （参加者 38名）  
(NHK歳末たすけあい助成)



### 3. トルコ・シリア地震緊急支援対応

令和5年2月6日未明、トルコ南東部のシリア国境近くで発生したM7.8の地震とM7.5の余震で、多くのビルや家屋が崩壊する甚大な被害により、56,000人を超える方々が亡くなられた。

(3月末時点) この災害に対し、静岡からできる取り組みとして日頃からつながりのある、阪神淡路大震災で大きな被害を受けた神戸市に拠点をおき、世界各地の災害を支援する「CODE海外災害救助市民センター」の現地での支援活動を応援する募金の呼びかけを行った。

3月末までに64件774,431円の募金が寄せられ、「CODE海外災害救助市民センター」には2回にわたり計500,000円を送金した。引き続き5月10日まで募金活動を継続する。

## **令和 4 年度 決算報告**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会





## 活動計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科目	金額
I 経常収益	
1 受取会費	
正会員受取会費	2,365,000
賛助会員受取会費	230,000
特別会員受取会費	310,000
2 受取寄付金	
受取寄付金	2,927,408
資産受贈益	
3 受取助成金等	
受取助成金	17,300,000
受取配分金	5,495,529
受取補助金	0
4 事業収益	
自治体受託事業収益	37,742,796
民間受託事業収益	1,776,130
自主事業収益	
5 その他収益	
受取利息	85
広告協賛収益	1,730,000
雑収益	3,517,925
繰入金収益	
経常収益計	5,248,010
II 経常費用	73,394,873
1 事業費	
(1) 人件費	
給料手当	33,032,284
法定福利費	4,657,702
福利厚生費	45,806
人件費計	37,735,792
(2) その他経費	
会議費	171,431
水光熱費	4,097,645
講師費	1,224,098
委員費	155,840
旅費交通費	1,812,505
印刷製本費	4,467,882
消耗品費	2,334,504
通信運搬費	2,938,645
新聞図書費	358,617
賃借料	2,658,624
雑費	2,048,852
修繕費	350,367
租税公課	2,490,000
その他経費計	25,109,010
事業費計	62,844,802
2 管理費	
(1) 人件費	
役員報酬・給料手当	7,615,058
法定福利費	1,121,912
福利厚生費	246,145
人件費計	8,983,115
(2) その他経費	
会議費	668,773
旅費交通費	99,277
印刷製本費	83,947
通信運搬費	53,292
水光熱費	1,654,724
消耗品費	400,430
賃借料	87,534
雑費	514,486
修繕費	8,415
租税公課	71,000
減価償却費	958,073
その他経費計	4,599,951
管理費計	13,583,066
経常費用計	76,427,868
当期経常増減額	-3,032,995
III 経常外収益	
1 特定資産増加益	990,000
経常外収益計	990,000
IV 経常外費用	
1 雜損失	
経常外費用計	0
当期正味財産増減額	-2,042,995
前期繰越正味財産額	6,298,786
次期繰越正味財産額	4,255,791

特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会

本来事業一般会計  
貸借対照表  
令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	9,198,063
未収入金	2,144,029
立替金	6,486,766
仮払金	80,000
流動資産合計	17,908,858
2 固定資産	
積立預金	280,608
車輌運搬具	445,617
什器備品	2,403,043
固定資産合計	3,129,268
資産合計	21,038,126
II 負債の部	
1 流動負債	
預り金	12,017,049
未払金	4,765,286
流動負債合計	16,782,335
負債合計	16,782,335
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	6,298,786
当期正味財産増減額	-2,042,995
正味財産合計	4,255,791
負債及び正味財産合計	21,038,126

特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会

## 本来事業一般会計

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

科目	金額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
普通預金 静岡銀行	5,116,423	
郵便振替預金 名古屋地方郵便局	3,073,756	
普通預金 静岡県労働金庫	1,007,884	
未収入金	2,144,029	
立替金	6,486,766	
仮払金	80,000	
流動資産合計	17,908,858	
2 固定資産		
積立預金	280,608	
車輌運搬具	445,617	
什器備品	2,403,043	
固定資産合計	3,129,268	
資産合計	21,038,126	
II 負債の部		
1 流動負債		
預り金	12,017,049	
未払金	4,765,286	
流動負債合計	16,782,335	
負債合計	16,782,335	
正味財産	4,255,791	

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 本来事業特別会計収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	予算額①	決算額②	増 △ 減 (②-①)	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1. 基本財産利子収入	0	55	55	
基本財産利子収入	0	55	55	普通預金利息収入 55
2. 寄付金収入	55,000	823,303	768,303	
寄付金収入	55,000	823,303	768,303	国際災害V支援活動基金 12,511 ボランティア人づくり基金 36,361 トルコ・シリア地震支援募金 774,431 災害時のボランティア活動資金
3. 繰入金収入	0	2,877,025	2,877,025	
繰入金収入	0	2,877,025	2,877,025	災害時のボランティア活動資金 東部豪雨会計より 2,877,025
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>55,000</b>	<b>3,700,383</b>	<b>3,645,383</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>6,496,661</b>	<b>6,496,661</b>	<b>0</b>	
<b>収入合計(B)</b>	<b>6,551,661</b>	<b>10,197,044</b>	<b>3,645,383</b>	

(単位 円)

科 目	予算額①	決算額②	増 △ 減 (②-①)	備 考
<b>II 支出の部</b>				
1. 繰出金	600,000	1,500,000	900,000	
特別会計繰出金	600,000	1,500,000	900,000	災害時のボランティア活動資金 令和4年台風15号会計へ 1,500,000
2. 基本財産積立金	100,000	0	△ 100,000	
基本財産積立金	100,000	0	△ 100,000	ボランティア人づくり基金
3. 募金関係諸経費	0	517,300	517,300	
募金関係諸経費	0	517,300	517,300	寄付金(トルコ・シリア地震支援募金) 500,000 印刷製本費(トルコ・シリア地震支援募金) 6,200 雑費(トルコ・シリア地震支援募金) 1,100 協賛金(ウクライナ希望のつばさ) 10,000
4. 雑費	2,000	1,100	△ 900	
雑 費	2,000	1,100	△ 900	残高証明書発行手数料他 1,100
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>702,000</b>	<b>2,018,400</b>	<b>1,316,400</b>	
<b>当期支出差額(A)-(C)</b>	<b>△ 647,000</b>	<b>1,681,983</b>	<b>2,328,983</b>	
<b>次期繰越収支差額 (B) - (C)</b>	<b>5,849,661</b>	<b>8,178,644</b>	<b>2,328,983</b>	

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
本來事業特別会計

<貸借対照表>

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	6,822,152
未収入金	3,382,910
流動資産の合計	10,205,062
資産合計	10,205,062
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	6,200
預り金	2,020,218
流動負債の合計	2,026,418
負債合計	2,026,418
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	6,496,661
当期正味財産増加額	1,681,983
当期正味財産合計	8,178,644
負債及び正味財産合計	10,205,062

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
本來事業特別会計

< 財産目録 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
静岡銀行普通預金（災害時のV受入れ活動資金）	4,387,324
郵便振替預金（災害時のV受入れ活動資金）	235,970
郵便振替預金（国際災害支援活動基金）	2,061,063
郵便振替預金（人づくり基金）	137,795
未収入金	3,382,910
流動資産合計	10,205,062
資産合計	10,205,062
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	6,200
預り金	2,020,218
流動負債合計	2,026,418
負債合計	2,026,418
正味財産	8,178,644

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
令和4年台風15号会計収支計算書

令和4年10月3日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>I 収入の部</b>		
1. 募金収入	<b>3,629,278</b>	
募金収入	3,629,278	ボランティア活動支援金(112件) 1,721,492 あつたか家電プロジェクト募金(81件) 1,907,786
2. 助成金収入	<b>3,080,000</b>	
助成金収入	3,080,000	日本財団 2,900,000 県議会ボランティア推進議員連盟 180,000
3. 雑収入	<b>0</b>	
雑収入	0	
4. 繰入金	<b>1,500,000</b>	
繰入金	1,500,000	災害時のボランティア受入れ活動資金 1,500,000
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>8,209,278</b>	

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>II 支出の部</b>		
1. 支援活動	<b>5,037,251</b>	
事務局費用	969,003	事務局交通費 146,888 印刷製本費 10,848 通信運搬費 58,086 消耗品費 126,275 賃借料 102,934 雑費他 168,943 人件費 355,029
現地活動費用	1,634,656	レンタカ一代 123,433 資機材代 242,060 ボランティア本部アドバイザー活動費 1,084,500 雑費他 184,663
家電プロジェクト費用	1,819,921	電気ストーブ代 1,600,000 倉庫使用料 60,000 通信運搬費 21,088 印刷製本費 7,099 雑費他 1,540 人件費 130,194
みんなの居場所「ふらっと」プロジェクト費用	613,671	水光熱費 215,009 消耗品費 336,682 学習支援活動費 60,000 雑費他 1,980
2. 管理費	<b>172,149</b>	
管理費	172,149	活動支援金(1,721,492円) × 10% 172,149
3. 繰出金	<b>0</b>	
繰出金	0	
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>5,209,400</b>	
<b>次年度繰越金(A)-(B)</b>	<b>2,999,878</b>	

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
令和4年台風15号会計

< 貸借対照表 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	1,538,806
未収入金	5,447,671
仮払金	
立替金	
流動資産の合計	6,986,477
資産合計	6,986,477
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	3,948,521
預り金	38,078
流動負債の合計	3,986,599
負債合計	3,986,599
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	
当期正味財産増加額	2,999,878
当期正味財産合計	2,999,878
負債及び正味財産合計	6,986,477

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

令和4年台風15号会計

< 財産目録 >

令和4年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
郵便振替預金　名古屋地方郵便局	1,538,806	
未収入金	5,447,671	
仮払金		
立替金		
流動資産合計	6,986,477	
資産合計	6,986,477	
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	3,948,521	
預り金	38,078	
流動負債合計	3,986,599	
負債合計	3,986,599	
正味財産	2,999,878	

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
トルコ・シリア 地震被災者支援募金会計 収支計算書

令和5年2月15日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>I 収入の部</b>		
1. 募金収入	<b>774,431</b>	
募金収入	774,431	支援募金(64件) 774,431
<b>前年度繰越金</b>		
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>774,431</b>	

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>II 支出の部</b>		
1. 支援活動	<b>7,300</b>	
事務局費用	7,300	事務局交通費 通信運搬費 印刷製本費 消耗品費 雑費(送金手数料他) 6,200 1,100
2. 募金送金	<b>500,000</b>	
募金送金	500,000	CODE海外災害援助市民センター 500,000
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>507,300</b>	
<b>次年度繰越金(A)-(B)</b>	<b>267,131</b>	

(用紙 日本産業規格A 4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
トルコ・シリア地震被災者支援募金会計

< 貸借対照表 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	2,061,063
未収入金	336,962
仮払金	
立替金	
流動資産の合計	2,398,025
資産合計	2,398,025
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	6,200
預り金	2,124,694
流動負債の合計	2,130,894
負債合計	2,130,894
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	
当期正味財産増加額	267,131
当期正味財産合計	267,131
負債及び正味財産合計	2,398,025

(用紙 日本産業規格A 4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
トルコ・シリア地震被災者支援募金会計

< 財 産 目 錄 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
郵便振替預金　名古屋地方郵便局	2,061,063
未収入金	336,962
仮払金	
立替金	
流動資産合計	2,398,025
資産合計	2,398,025
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	6,200
預り金	2,124,694
流動負債合計	2,130,894
負債合計	2,130,894
正味財産	267,131

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
静岡県東部豪雨会計収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>I 収入の部</b>		
1. 募金収入	0	
募金収入	0	
2. 雑収入	6	
雑収入	6	預金利息 6
<b>前年度繰越金</b>	<b>2,877,569</b>	
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>2,877,575</b>	

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>II 支出の部</b>		
1. 支援活動	550	
事務局費用	550	事務局交通費 通信運搬費 印刷製本費 消耗品費 賃借料 雑費他 550
2. 募金送金	0	
募金送金	0	
3. 管理費	0	
管理費	0	
4. 繰出金	2,877,025	
繰出金	2,877,025	災害時のボランティア受入れ活動資金へ 2,877,025
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>2,877,575</b>	
<b>次年度繰越金(A) - (B)</b>	<b>0</b>	

(用紙 日本産業規格A 4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
静 岡 県 東 部 豪 雨 会 計

< 貸 借 対 照 表 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	640,839
未収入金	4,263,195
仮払金	
立替金	
流動資産の合計	4,904,034
資産合計	4,904,034
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	4,904,034
預り金	
流動負債の合計	4,904,034
負債合計	4,904,034
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	2,877,575
当期正味財産増加額	△ 2,877,575
当期正味財産合計	0
負債及び正味財産合計	4,904,034

(用紙 日本産業規格A 4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
静 岡 県 東 部 豪 雨 会 計

< 財 産 目 錄 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
普通預金       静岡銀行	640,839
郵便振替預金   名古屋地方郵便局	
未収入金	4,263,195
仮払金	
立替金	
流動資産合計	4,904,034
資産合計	4,904,034
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	4,904,034
預り金	
流動負債合計	4,904,034
負債合計	4,904,034
正味財産	0

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
新型コロナ給付金募金会計 収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>I 収入の部</b>		
1. 募金収入	0	
募金収入	0	
前年度繰越金	278,915	
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>278,915</b>	

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>II 支出の部</b>		
1. 支援活動	0	
事務局費用	0	事務局交通費 通信運搬費 印刷製本費 消耗品費 雑費(送金手数料他)
2. 募金送金	0	
募金送金	0	
3. 寄贈品	0	
寄贈品	0	
4. 管理費	0	
管理費	0	
5. 繰出金	0	
繰出金	0	
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>0</b>	
<b>次年度繰越金(A) - (B)</b>	<b>278,915</b>	

(用紙 日本産業規格A 4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

新型コロナ給付金募金会計

< 貸借対照表 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	278,915
未収入金	
仮払金	
立替金	
流動資産の合計	278,915
資産合計	278,915
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
預り金	
流動負債の合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	278,915
当期正味財産増加額	0
当期正味財産合計	278,915
負債及び正味財産合計	278,915

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
新型コロナ給付金募金会計

< 財産目録 >

令和5年3月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
郵便振替預金　名古屋地方郵便局	278,915	
未収入金		
仮払金		
立替金		
流動資産合計	278,915	
資産合計		278,915
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金		
預り金		
流動負債合計	0	
負債合計		0
正味財産		278,915

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
タ ク ラ ー ン 村 洪 水 災 害 会 計 収 支 計 算 書

令和4年4月1日から令和4年5月31日まで

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>I 収入の部</b>		
1. 募金収入	0	
募金収入	0	
前年度繰越金	13,823	
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>13,823</b>	

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
<b>II 支出の部</b>		
1. 支援活動	3,780	
事務局費用	3,780	通信運搬費 3,780
2. 募金送金	0	
募金送金	0	
3. 管理費	10,043	
管理費	10,043	10,043
4. 繰出金	0	
繰出金	0	
<b>当期支出合計(B)</b>	<b>13,823</b>	
<b>次年度繰越金(A) - (B)</b>	<b>0</b>	

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
タクラーン村洪水災害会計

< 貸借対照表 >

令和4年5月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額
I 資産の部	
1 流動資産	
現金預金	
未収入金	
仮払金	
立替金	
流動資産の合計	0
資産合計	0
II 負債の部	
1 流動負債	
未払金	
預り金	
流動負債の合計	0
負債合計	0
III 正味財産の部	
前期繰越正味財産	13,823
当期正味財産増加額	△ 13,823
当期正味財産合計	0
負債及び正味財産合計	0

(用紙 日本産業規格A4縦型)

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
タクラン村洪水災害会計

< 財産目録 >

令和4年5月31日現在

(単位 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
郵便振替預金　名古屋地方郵便局	0	
未収入金		
仮払金		
立替金		
流動資産合計	0	
資産合計		0
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	0	
預り金	0	
流動負債合計	0	
負債合計		0
正味財産		0

## 令和4年度 一般会計預金高表

令和5年3月31日現在 (単位 円)

	普通預金	郵便預金	普通預金	積立預金	合計
静岡銀行	5,116,423			280,608	5,397,031
ゆうちょ銀行		3,073,756			3,073,756
静岡県労働金庫			1,007,884		1,007,884
一般会計 合計	5,116,423	3,073,756	1,007,884	280,608	9,478,671

## 令和4年度 特別会計預金高表

令和5年3月31日現在 (単位 円)

	静岡銀行 普通預金	ゆうちょ銀行 郵便預金	ゆうちょ銀行 郵便預金	合計
災害時のボランティア活動資金	4,387,324	235,970		4,623,294
人づくり基金			137,795	137,795
国際災害V支援活動基金			2,061,063	2,061,063
特別会計 小計	4,387,324	235,970	2,198,858	6,822,152

	静岡銀行 普通預金	ゆうちょ銀行 郵便預金	ゆうちょ銀行 郵便預金	合計
令和4年台風15号V支援募金		1,538,806		1,538,806
東部豪雨災害支援募金	640,839			640,839
新型コロナ給付金募金			278,915	278,915
タクラーン村応援募金			0	0
特別会計(災害) 小計	640,839	1,538,806	278,915	2,458,560

特別会計総合計	普通預金	5,028,163	郵便預金	4,252,549	合計	9,280,712
---------	------	-----------	------	-----------	----	-----------

# 監 査 報 告 書

## 1. 監査事項

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会 令和4年度事業並びに  
一般会計・基金特別会計決算について

- (1) 一般会計
- (2) 特別会計

## 2. 結果報告

監査の結果、事業は適正に実施され、また各会計については、財産目録・  
貸借対照表及び収支決算書を諸帳簿・諸書類と対照精査し、正確に処理さ  
れていることを認めます。

令和 5年 5月 11 日

特定非営利活動法人  
静岡県ボランティア協会

監 事 八木孝佐   
監 事 下澤 猛 

# **令和5年度 事業計画**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

## 1. 令和5年度 事業計画

コロナ禍での3年間に及んだ生活、ウクライナにロシアが侵攻して1年が経過し、さまざまな生活場面に深刻な影響が出ています。私たちが生活する社会は、互いを認め、尊重し、支えあうことで成り立ちます。本協会は、ボランティア活動・市民活動を広く啓発し、参加を促し、学びの機会を創り、だれもが安心して生活していくことができる社会の実現を目指し活動してきました。新たな年度、だれもが明るく、笑顔で、人と人との出会い、学び、みなが輝くことができるよう、協会をご支援くださる人たちの力を集め、令和5年度事業に取り組みます。

### (1) 次代を担う青少年育成事業

青少年にとってボランティア活動の体験は、多様な人と人、価値観との出会いの場になります。夏のボランティア活動体験、高校生東北スタディツアーや、高校生スタディツアーや(タイ)、「共生社会づくり」事業など、多様な価値観と出会う、学びの場を提供していきます。

### (2) ケアの文化を社会に浸透させる事業

家庭や地域で介護や育児にかかる当事者の方々や、ケアの仕事に携わる人たち、さらには、それを支えるボランティアがよりよく生活し続けられるよう「ケアの文化を学ぶ」機会をつくります。

### (3) 大規模災害に備えたボランティア活動の体制整備事業

大規模災害発生時に立ち上がる「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」の運営にあたり、県社会福祉協議会と共に体制整備に努めます。大規模な地震、台風災害など自然災害に備えるためのボランティア活動の体制整備を進めます。国内災害の発生で緊急的な支援が必要な場合は、協会職員・ボランティア等の派遣を行います。

### (4) 「つなぐ」活動事業

行政・企業・NPO・大学等の多様なセクターと「つなぐ」活動を進め、顔の見える関係づくりを基本とした協働を促進します。

静岡市番町市民活動センター指定管理業務(第4期3年目)の活動を通じ、市民活動の推進に努めます。

### (5) 組織及び財政の基盤強化事業

個人、団体、企業等に対し、正会員(個人・団体)へのお誘い、賛助会員加入を働きかけます。さらに、「夏のとくべつ募金」「年末年始とくべつ募金」を呼びかけるとともに、事業実施にあたり助成金申請を積極的に行います。

赤い羽根共同募金「課題解決プロジェクト募金」を積極的に取り組みます。

### (6) 繼続的な災害等の支援事業

ウクライナから静岡県に避難する人たちを支援する「ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA」の活動が継続できるよう支援者拡大に努めます。又、令和4年台風第15号被害からの復旧、復興を支援するため、静岡市清水区に開設した、みんなの居場所『ふらっと』の運営を日本財団の助成で支援します。



## 実施目標2 ケアの文化を社会に浸透させる事業

### ケアする人のケアを学ぶ会2023

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業／50万円)

社会福祉施設や医療、教育の場でケアの仕事に携わる人たちや、家庭や地域で介護や育児にかかわる当事者、支える立場の市民やボランティアが、みんなで支え合うケアを学ぶ会を企画し「ケアの文化」が社会に浸透していくよう取り組んでいく。本事業は、静岡県労働者福祉基金協会の共催で実施する。

実施時期：10月～令和6年1月に予定

内 容：講師については検討中

## 実施目標3 大規模災害に備えたボランティア活動体制整備事業

### 1. 南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク事業

①南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会  
(静岡県労働者福祉基金協会助成事業／100万円)

南海トラフ巨大地震等に備え、平常時から県内外の災害ボランティア関係者間の信頼関係構築と情報交換の機会を作り、災害時に被災地での支援活動をスムーズに進めていくための広域受援体制づくりと広域支援体制のあり方について検討する。

委員会の開催 7月、9月、12月、2月の4回実施（日程調整中）

②ボランティアによる災害時の要配慮者支援をともに考える事業  
「災害時の知恵ぶくろ～要配慮者支援編～」  
(共同募金配分金事業／60万円)

災害時、命の危険にさらされてしまう“災害時要配慮者”。避難行動や避難生活中の多くの課題に立ち向かうためには、多様な人が日ごろから協力しあえる関係づくりが求められる。自らが暮らす地域の現状を知り、要配慮者への支援を考える、いざというときのためにつながりをつくるため、3か年計画で実施する。「災害時の知恵ぶくろ」は今年度2年目の取り組み。

1年目・・・ケースメソッド（課題に気づく眼）令和4年度実施済み

2年目・・・+ONE（解決のためのアイディア）

3年目・・・協働するためのつながり

\*2年目の進め方については、現在検討中。

### 2. 災害時のボランティア活動資金づくり

災害時におけるボランティア受け入れや被災地へのボランティアの迅速な送り出しなど、本協会として支援活動をおこなうための「災害時のボランティア活動資金づくり」を引き続き行なっていく。

### 3. 公益信託静岡県災害ボランティア活動ファンドの啓発

大規模地震等の災害が発生した際、ボランティア活動の初動活動を支える資金として創設された「公益信託静岡県災害ボランティア活動ファンド」の啓発活動を行うとともにファンドへの募金を呼びかけていく。

#### 実施目標4 「つなぐ」活動事業

##### 1. 静岡県総合社会福祉会館ボランティアビューローの管理

ボランティア活動拠点として県総合社会福祉会館ボランティアビューローの利用に伴う管理と報告を静岡県に対し定期的に実施する。大規模災害時には「静岡県災害ボランティア本部・情報センター」となるため、環境整備を心掛ける。

##### 2. ボランティア相談支援事業

###### ①ボランティア相談支援

ボランティア活動に関する相談に具体的に応えるため様々な活動情報やノウハウの蓄積をしていく。相談者が興味関心を持ちそうなボランティア活動情報や多様な人たちへの情報提供、支援を心掛ける。

###### ②教育現場におけるボランティア学習の啓発・推進

教育現場におけるボランティア学習・福祉教育の取り組みに対し、教職員や児童・生徒にボランティア活動への理解を促すため情報提供をはじめ、ボランティアガイダンスを活用した支援をしていく。

###### ③ボランティア活動参加促進事業

(静岡県共同募金会配分金事業／35万円)

働く世代の方や学生をはじめ一般市民のボランティア活動への興味・関心、参加意欲を掘り起こし、身近なボランティアに参加できる機会を作っていく。あわせてさまざまな団体等との協働した取り組みを進める。

###### ④ボランティアガイダンスの作成

(静岡県共同募金会配分金事業／69万円)

ボランティア活動をわかりやすく案内するガイダンスを作成し、ボランティア活動の導入資料として活用する。福祉施設関係者をはじめ、教育現場などで積極的に活用いただけるよう広報、啓発していく。

##### 3. 市民活動サポートセンター事業

###### ①市民活動に関する助成金情報をはじめとした情報収集と提供

(静岡県社会福祉協議会ふれあい基金助成事業／180万円)

助成金情報、研修情報をはじめとする市民活動を応援していくための情報、企業の社会貢献活動、行政における市民活動支援に関する情報など幅広く収集し、必要とする人たちに提供していく。



開催日：令和6年2月23日(金・祝)  
 会場：静岡サレジオ中・高等学校マリアンホール他  
 定員：400人  
 主催：静岡県労働者福祉基金協会・静岡県ボランティア協会  
 共催：静岡県社会福祉協議会・静岡市社会福祉協議会  
 実施主体：第45回静岡県ボランティア研究集会実行委員会  
 後援：静岡県・静岡県教育委員会・静岡市・静岡市教育委員会(予定)

## 5. 広報誌発行事業

### 機関誌の発行

会員および中間支援機関など関係機関に対し、機関誌「ボランティア情報静岡」を、年4回発行する。また、「ぼらんていあMail」を毎月会員に送り、事務局の動きを伝えていく。

## 6. 情報提供事業

### ホームページの運用・管理

本協会の事業紹介・参加者募集、ボランティア募集、助成金、講座等の情報提供を行なう。

## 7. 静岡市番町市民活動センター指定管理事業

(静岡市指定管理委託事業／37,106千円)

静岡市番町市民活動センターは、2021年4月より5年間の第4期指定管理業務を開始し3年目を迎える。静岡市清水市民活動センターとの連携、協力を増やし市民活動センターの役割、機能を強化していく。

- (1) 市民活動に役立つ研修会・講座の開催
  - ①啓発講座・人材育成専門講座等の開催
- (2) NPO・市民活動に関する相談
- (3) 団体の育成・支援
- (4) 市民活動支援システムの利用促進
- (5) 市民活動に関する情報の発信
  - ①情報誌「ばんたび」の発行
  - ②かわら版発行
  - ③メールマガジン発行
- (6) 災害時におけるボランティアセンター立ち上げ支援
- (7) 利用者会議、入居団体会議、センター連絡会議、運営委員会等の開催

## 実施目標5 組織及び財政の基盤強化事業

### 1. 自主財源を確保していくための事業

#### ①会員獲得「会員増強キャンペーン」

まず新年度当初、会員継続のお願いをする。加えて、本協会の理解者、支援者になっていただけるよう新規会員の開拓に取り組む。

「会員増強キャンペーン(6月1日～7月末日)」を実施する。会員未継続の方への継続依頼をさせていただき、災害支援などに参加された方には、本協会員になっていただけるよう働きかける。

②ボラ協の「夏のとくべつ募金」「年末年始とくべつ募金」を実施

ボランティア活動を進める上で不可欠な自主財源づくりに努める。

夏のとくべつ募金

実施期間：7月1日（金）～9月30日（金）

年末年始とくべつ募金

実施期間：12月1日（木）～1月31日（火）

③第39回ボラ協のしづおか福祉バザール

本協会の活動をアピールし、自主財源の確保につながるよう福祉バザールを開催する。

開催にあたり、ボランティア・市民活動団体、企業、学校等との関係をつないでいくことを心がけていく。

開催日：11月3日（金・祝）

会 場：静岡県総合社会福祉会館シズウェル1階全会議室・602会議室

開催にあたりシズウェル内で活用できる場所を検討する。

## 2. 本業を活かした企業の社会貢献活動との連携

①「1本のジュースがVolunteerを応援」キャンペーン

清涼飲料水の自動販売機を設置することでボランティア活動の応援につながる仕組みがメーカーの協力のもと定着しており、現在92台が稼働中。

企業・団体等の社会貢献活動と連携し、設置協力者の開拓に努める。

②「寄付金付き商品」の開発と推奨

企業の社会貢献活動と連携するとともに、災害時に備え「災害ボランティア活動資金」等に活かされる「寄付金付き商品」の開発と推奨に努める。

## 3. 理事会・定期総会の開催と事務局との連携

理事会には、本協会の財政運営状況、事業の実施状況を報告する。認定NPO法人の取得作業を進めるとともに、事務局と理事会の連携を強化していく。

理 事 会：5月21日（日）、7月1日（土）、10月25日（水）、1月31日（水）、

3月27日（水）の年5回実施予定。

定期総会：5月21日（日）に開催。

ゲスト：レシャード・カレッドさん（認定NPO法人口レーズの会理事長）

「アフガニスタン今」と題した講演を実施。また、二胡奏者鈴木裕子さんのミニコンサートも実施する。

## 実施目標6 繼続的な災害等の支援事業

①ウクライナ避難者支援

ウクライナから静岡県に避難する人たちを支援する任意団体「ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA」の活動を継続していく必要から、事務局として支援者拡大に努める。

②令和4年台風第15号支援

（日本財団助成金事業）

令和4年台風第15号被害からの地域の復旧・復興を支援するため、昨年12月より静岡市清水区に、みんなの居場所『ふらっと』を開設、運営している。今年度も、多様な運営協力団体とともに、必要とされる活動を継続する。

実施期間：令和4年12月18日（金）～令和5年10月31日（火）

# **令和5年度 予算**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

**特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
本來事業一般会計収支予算書**  
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

科 目	今 年 度 当 初 予 算 額	前 年 度 当 初 予 算 額	増 △ 減	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	3,300,000	3,300,000	0	
正会員収入	2,700,000	2,700,000	0	個人3,000円×500口 団体10,000円×120口 2,700,000
賛助会員収入	300,000	300,000	0	賛助5,000円×60口 300,000
特別会員収入	300,000	300,000	0	特別30,000円以上×10口 300,000
2. 助成金収入	20,350,000	17,450,000	2,900,000	
県社協助成金収入	9,400,000	9,400,000	0	情報提供事業 2,750,000 ボランティア相談支援事業 4,800,000 ボランティア研修派遣事業 450,000 事務局水光熱費等 1,400,000
静岡県社会福祉協議会 ふれあい基金助成金収入	4,500,000	4,500,000	0	リフトバス運行事業 0 「ケアする人のケア」事業 500,000 ボランティア研究集会事業 1,200,000 市民活動推進事業 1,800,000 TOMOSHIBI高校生スタディツアーワーク 1,000,000
静岡県労働者福祉基金 協会助成金収入	3,000,000	3,000,000	0	南海トラフ巨大地震等に備えた災害 ボランティアネットワーク委員会 1,000,000 第45回静岡県ボランティア研究集会 2,000,000
日本財団助成金収入	2,900,000	0	2,900,000	みんなの居場所「ふらっと」運営助成 2,900,000
その他助成金収入	550,000	550,000	0	静岡リバティライオンズクラブ 県議会ボランティア推進議員連盟 他 550,000
3. 委託事業収入	37,451,400	36,817,800	633,600	
静岡市 指定管理委託 事業収入	37,451,400	36,817,800	633,600	静岡市番町市民活動センター 指定管理委託料 37,106,000 静岡市番町市民活動センター 使用料徴収事務委託料 345,400
4. 共同募金会配分金収入	5,290,053	5,445,529	△ 155,476	
共同募金会配分金収入	5,290,053	5,445,529	△ 155,476	第42回サマーショートボランティア 活動計画 2,300,000 ボランティア活動の手引き発行 690,000 ボランティア活動参加促進事業 350,000 課題解決プロジェクト募金 350,053 ボランティアによる災害時の要配慮 者支援事業(災害時の知恵くらう) 600,000 緊急等助成事業(防災倉庫設置) 1,000,000
5. 繰入金収入	0	600,000	△ 600,000	
繰入金収入	0	600,000	△ 600,000	災害時のV受入れ活動資金
6. 事業収入	3,500,000	3,000,000	500,000	
事業収入	3,500,000	3,000,000	500,000	参加費・バザー他 3,500,000
7. 寄付金収入	6,500,000	6,500,000	0	
寄付金収入	6,500,000	6,500,000	0	1本のジュース 売上げに伴う寄付金 1,500,000 一般寄付募金 3,000,000 どくべつ募金(夏の募金・年末年始) 2,000,000
8. 諸収入	8,000,000	8,000,000	0	
広告協賛収入	3,000,000	3,000,000	0	機関誌・SSV・V研等広告協賛 3,000,000
雑収入	5,000,000	5,000,000	0	印刷等使用料他 5,000,000
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>84,391,453</b>	<b>81,113,329</b>	<b>3,278,124</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>966,523</b>	<b>3,041,445</b>	<b>△ 2,074,922</b>	
<b>収 入 合 計 (B)</b>	<b>85,357,976</b>	<b>84,154,774</b>	<b>1,203,202</b>	

科 目	今 年 度 当初予算額	前 年 度 当初予算額	増 △ 減	備 考
<b>Ⅱ 支出の部</b>				
1. 運営費	15,360,000	15,860,000	△ 500,000	
1. 会議費	600,000	600,000	0	
1. 会議費	600,000	600,000	0	理事会・定期総会他
2. 管理費	12,170,000	12,670,000	△ 500,000	
1. 役員報酬・職員給料	8,500,000	9,000,000	△ 500,000	
2. 諸手当	1,300,000	1,300,000	0	
3. 厚生費	2,370,000	2,370,000	0	
3. 事務所費	2,590,000	2,590,000	0	
1. 旅費	100,000	100,000	0	
2. 需用費	2,300,000	2,300,000	0	事務局水光熱費・共益費
3. 分担金	40,000	40,000	0	
4. 雑費	150,000	150,000	0	
2. 事業費	68,461,400	62,767,800	5,693,600	
1. 事業費	68,461,400	62,767,800	5,693,600	
1. 市民活動サポートセンター活動費	7,670,000	7,670,000	0	新聞刊行物情報誌購読料他 300,000 ボランティア活動の手引き発行 770,000 ボランティア相談支援事業 4,800,000 市民活動推進事業 1,800,000
2. 研修費	11,620,000	7,610,000	4,010,000	第45回静岡県V研究集会 4,500,000 第42回サマーショートボランティア活動計画 3,600,000 青少年の異文化交流体験事業 3,070,000 ボランティア研修派遣 450,000
3. 一般事業費	8,420,000	7,130,000	1,290,000	南海トラフ巨大地震等に備えた災害ボランティアネットワーク委員会 1,000,000 ボランティアによる災害時の要配慮者支援事業(災害時の知恵ぶくろ) 700,000 ボランティア活動参加促進事業 400,000 TOMOSHIBIプロジェクト 東北スタディツアー 1,400,000 「ケアする人のケア」開催費 620,000 高校生・大学生と共にくる共生社会づくり事業 400,000 緊急等助成事業(防災倉庫設置) 1,000,000 みんなの居場所ふらっと運営 2,900,000
4. 広報誌発行事業	550,000	550,000	0	機関誌印刷・発送費 500,000 取材費等 50,000
5. 情報提供事業	2,750,000	2,990,000	△ 240,000	情報提供事業(ホームページ運営・管理・取材等他) 2,750,000
6. 静岡市番町市民活動センター指定管理事業	37,451,400	36,817,800	633,600	静岡市番町市民活動センター指定管理費 37,106,000 静岡市番町市民活動センター使用料徴収事務費 345,400
3. 自動車維持費	500,000	1,800,000	△ 1,300,000	
1.自動車維持費	500,000	1,800,000	△ 1,300,000	
1. リフトバス維持費	0	1,400,000	△ 1,400,000	愛輪2号保険・整備費等維持・管理費 0
2. 自動車維持費	500,000	400,000	100,000	保険・整備費等維持・管理費 500,000
4. 予備費	50,000	50,000	0	
1. 予備費	50,000	50,000	0	
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>84,371,400</b>	<b>80,477,800</b>	<b>3,893,600</b>	
<b>当期収支差額(A)-(C)</b>	<b>20,053</b>	<b>635,529</b>	<b>△ 615,476</b>	
<b>次期繰越収支差額(B)-(C)</b>	<b>986,576</b>	<b>3,676,974</b>	<b>△ 2,690,398</b>	

※一時借入金の限度額を300万円とする。  
※各中科目において予算の流用をすることができる。

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
本來事業特別会計収支予算書(案)

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位 円)

科 目	今年度 当初予算額	前年度 当初予算額	増 △ 減	備 考
<b>I 収入の部</b>				
1. 基本財産利子収入	0	0	0	
基本財産利子収入	0	0	0	普通預金利息収入 0
2. 寄付金収入	265,000	55,000	210,000	
寄付金収入	265,000	55,000	210,000	災害時のボランティア活動資金募金 20,000 国際災害V支援活動基金 15,000 ボランティア人づくり基金 30,000 トルコ・シリア地震支援募金 200,000
3. 繰入金収入	0	0	0	
繰入金収入	0	0	0	災害時のボランティア活動資金
<b>当期収入合計(A)</b>	<b>265,000</b>	<b>55,000</b>	<b>210,000</b>	
<b>前期繰越収支差額</b>	<b>8,178,644</b>	<b>6,496,661</b>	<b>1,681,983</b>	
<b>収入合計(B)</b>	<b>8,443,644</b>	<b>6,551,661</b>	<b>1,891,983</b>	

(単位 円)

科 目	今年度 当初予算額	前年度 当初予算額	増 △ 減	備 考
<b>II 支出の部</b>				
1. 繰出金	0	600,000	△ 600,000	
一般会計繰出金	0	600,000	△ 600,000	災害時のボランティア活動資金 国際災害支援ネットワーク事業
2. 基本財産積立金	100,000	100,000	0	
基本財産積立金	100,000	100,000	0	ボランティア人づくり基金 100,000
3. 募金関係諸経費	313,000	0	313,000	
募金関係諸経費	313,000	0	313,000	寄付金(トルコ・シリア地震支援募金) 300,000 印刷製本費(トルコ・シリア地震支援募金) 5,000 通信運搬費(トルコ・シリア地震支援募金) 7,000 雑費(トルコ・シリア地震支援募金) 1,000
4. 雜費	2,000	2,000	0	
雜費	2,000	2,000	0	残高証明書発行手数料他 2,000
<b>当期支出合計(C)</b>	<b>415,000</b>	<b>702,000</b>	<b>△ 287,000</b>	
<b>当期支出差額(A)-(C)</b>	<b>△ 150,000</b>	<b>△ 647,000</b>	<b>497,000</b>	
<b>次期繰越収支差額 (B) - (C)</b>	<b>8,028,644</b>	<b>5,849,661</b>	<b>2,178,983</b>	

## 会員紹介

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

令和4年度  
特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会  
会員名簿 (順不同・敬称略)

■個人正会員(349件)

相坂摂治／相沢敦子／青木 清／青島良夫／赤澤佳子／秋田いずみ／秋山 通／秋山和枝／浅倉清／浅田正美／浅羽 浩／網代 恵／安倍勝之／松尾敏郎／天野宏明／天野早苗／天野勝三／天野一／飯田末夫／飯塚善明／飯塚日那／池上 史／池富 彰／井指智弘／石上繁松／石上輝子／石川千種／石原亜里／石原正士／石原美千夫／石原政隆／石原なみ代／石間武一／伊丹雅治／市川秀之／井出志津夫／伊藤正之／伊藤勝幸／稻垣洋子／稻葉寛之／井野盛夫／井野政子／岩崎洋子／岩邊公明／岩本幸子／植田静彦／植田順也／植田 徹／鶴飼愛子／内海道子／内海直人／梅田 績／榎本 開／江間治人／遠藤次男／遠藤年彦／遠藤一紀／大石喜久雄／大石裕香／大石和子／大石真里／大石好昭／大石良子／大川原正美／大島基生／太田賢司／大滝 正／大竹亜季／大塚隆雄／大坪 渡／大西和博／大貫京子／大野木里美／大畠彰弘／大原みちの／大村高正／小笠原亢之／岡野有秀／岡村千津子／岡本久美子／小川晶央／奥島 学／長田 誠／小澤 巍／小澤賢広／小澤邦雄／小澤琢磨／落合慎悟／小野田全宏／小野寺郷子／小柳津君枝／柿澤 彰／片嶺忠司／片山孝行／勝又忠義／勝俣 昇／勝山紗弥／加藤武治／加藤勝義／加藤ひろみ／加藤明生／加藤元章／門谷優輝／金指敦之／兼子邦子／金子洋己／神尾孝明／上川陽子／亀田順子／河合修身／河井 栄／河内園子／川村栄司／河村かよ子／河原崎聖／神田 均／木内 満／北原莉央／北村寿子／木下孝成／木村仁子／工藤茂貴／久保田慶一／久保田仁美／久保田かりん／久保田光／久保田明／熊澤ほづみ／久米さか江／倉橋知子／倉持 仁／葉原清剛／河野 悟／後藤淳子／後藤恵吾／後藤明子／小沼秀朗／五味響子／小柳里歌／近藤 宏／酒井 廣／酒井信行・郁子／榎原淳一／坂本孝浩／櫻井 忍／佐地茂人／佐藤博明／佐藤善仁／佐藤春紀／佐野由利子／佐野容子／佐野メリ亞／更家維依／塙澤尚人／塙田耕之／塙谷廣男／塙谷琴美／篠崎彩乃／芝 稔／清水慈子／庄司秀子／榛地芳美／榛葉好美／杉田泰子／杉本洋子／杉本孝夫／杉本 周／杉本好重／杉本エリ子／杉山敏彦／杉山 泉／杉山唯花／杉山盛雄／鈴木恵子／鈴木三雄／鈴木まり子／鈴木利和／鈴木勝己／鈴木百葉／鈴木サマンタ一明／鈴木澄美／鈴木啓嗣／鈴木利幸／須藤昭二／千本正一／相馬太郎／曾根順子／田井中正志／高木春夫／高鳩和子／高嶋泰代／高津浩晃／高野幸夫／高橋裕美／高橋伸枝／高林敏彦／高部萌子／滝井淳史／竹内良訓／武田恵美子／竹中比呂美／竹渕 墓／竹渕 連／竹渕 論／竹渕 陸／竹渕 蘭／武山博子／田中正孝／谷澤 清／玉川靖子／玉木優吾／土屋源由／坪谷万里子／坪内秀樹／出水麻結／寺岡 淳／寺田吝孝／土井心々菜／戸倉 亨／都甲かずえ／殿岡正敏／鳥羽 茂／鳥羽美紀子／富田國夫／豊岡武士／鳥澤由克／鳥澤真理子／中沢公彦／中嶋艶子／中島孝之／中島裕幸／中田次城／中野菊乃／中村さとみ／中村彰男／中村 隼／中谷多加二／名倉恒夫／夏目和洋／南莊喜久子／南莊正生／西澤浩一／仁科正佳／西野誠／西原明美／根上恵美／野口正武／野崎正蔵／野田優生／野田治久／野村諒子／法月利恵／萩原初江／羽島小夜子／橋本志賀子／長谷川和家／長谷川和子／花崎柚葉／春田みね子／東山喬彦／東山富貴江／久田恵美子／土方洋子／人見嘉之／平田 厚／平野規里子／平山健一／深澤秀明／深澤優子／府川裕希／福地 恵／藤井義人／藤井嗣也／藤曲敬宏／細貝悠斗／細谷洋誓／堀井崇成／堀池花歩／堀越芳子／前田万正／前田しのぶ／牧田晴美／増田ふみ子／増田享大／町田和

幸／松尾和光／松島一博／松島信義／松田 剛／松永幸子／松野はるみ／松村皐月／松本知子／松本征四郎／松山文紀／松山佳子／眞子義秋／三浦 薫／三重野哲／水林夏鈴／宮城也寸志／宮崎節子／宮沢正美／宮原康年／三輪早苗／村田いせ子／村田昭弘／村松智恵子／村松由紀子／室岡千春／望月十三一／望月恵子／望月香世子／本井重孝／森 忠一／森 淑子／森下和哉／森竹治郎／森谷明子／森山誠二／矢沢良明／安池弘明／安本寿夫／藪田宏行／山岸久子／山口高史／山田昌弘／山田友美／山田 誠／山田恵利子／山本佳昭／山本宏子／山本利幸／山本美也子／山本遙香／湯瀬裕昭／柚木美乃／横山君枝／吉崎けい子／吉永理恵／吉野龍洋／良知敦行／和田武則／和田篤夫／渡瀬典幸／渡邊芳男／渡邊佳洋／渡邊 淳／渡辺悦郎

## ■団体正会員(105件)

(公財)静岡県アイバンク／(株)アイワホールディングス／葵学園O B ボランティアの会／明るい社会づくり運動静岡県連合会／(福)東桜会特別養護老人ホーム麻機園／(株)イカイ／(特非)活き生きネットワーク／石福建設(株)／(有)石本土木／(福)伊豆市社会福祉協議会／(福)伊豆の国市社会福祉協議会／(有)庵原屋／磐田市ボランティア連絡協議会／(株)エキスパートパワー・シズオカ／遠州みみの里とあゆむ会／(特非)御前崎災害支援ネットワーク／(福)御前崎市社会福祉協議会／(福)小山町社会福祉協議会／(福)掛川市社会福祉協議会／(福)静岡慈恵会春日保育園／(特非)カレーズの会／(医)倫芳会河井医院／(福)河津町社会福祉協議会／(福)川根本町社会福祉協議会／かんがえる.L a b o／木内建設(株)／(福)菊川市社会福祉協議会／(有)きのいい羊達／(福)復泉会くるみ共同作業所／(福)駿河会ケアハウスラポーレ駿河／(一社)静岡県経営者協会／(医)健社会／静岡県校長会／コールアザーリヤ／国際ソロプロミスト静岡／(有)小久保フェンダー製作所／(福)御殿場市社会福祉協議会／(株)財産ネットワークス静岡／サクライ石油(株)／幸の家／小百合キンダーホーム／(福)三幸会特別養護老人ホーム三幸の園／(公社)静岡県視覚障害者協会／(福)静岡いのちの電話／静岡うみねこの会／静岡キャピタル(株)／静岡市静岡地区ボランティア連絡会／静岡市清水地区ボランティア連絡会／(福)静岡市社会福祉協議会／静岡市ボランティア連絡協議会／静岡ソーマ化粧品(株)／静岡大成高等学校ボランティア部／(株)静岡第一テレビ／静岡市静岡手をつなぐ育成会／(福)静岡ホーム／静岡リバティライオンズクラブ／(一社)静岡県肢体不自由児者父母の会連合会／(福)島田市社会福祉協議会／清水町ボランティア連絡会／真宗大谷派・常光寺／静岡県腎友会／(医)菅ヶ谷内科医院／(福)すぎな／スター精密(株)／(福)ミルトス会駿東学園／(福)駿府葵会／(福)聖母福祉会聖ヨゼフの園／(株)ダイドービバレッジ静岡浜松営業所／大日三協(株)／(福)玉柏会／(福)玉柏会みすず／たんぽぽ保育園／静岡県中途失聴・難聴者協会／中部電力労働組合静岡総支部／つくしホーム／(福)小羊学園つばさ静岡／(福)寿康会徳風園／常葉大学草薙キャンパス／(福)長泉町社会福祉協議会／(福)西伊豆町社会福祉協議会／(福)青い鳥日本平学園／(一社)日本ボーイスカウト静岡県連盟／(福)輝望会沼津のぞみの里／(福)輝望会沼津のぞみの園／(福)沼津市社会福祉協議会／沼津市ボランティア連絡協議会／浜松船越小学校区交通指導隊／B R Nかけがわ／(福)袋井市社会福祉協議会／藤枝市ボランティア連絡協議会／(公財)星いきいき社会福祉財団／(福)三島市社会福祉協議会／(福)南伊豆町社会福祉協議会／(福)武蔵野会さくら学園／(福)明光会／(福)明和会／静岡県遊技業協同組合／ゆりかご保育園／日本リウマチ友の会静岡支部／(福)天心会竜爪園／竜南こども園／(福)わらしな福祉会りんどう／静岡県労働

金庫労働組合／労働者福祉基金協会／(株)渡辺工業

■贊助会員(40件)

青木清高／荒木行雄／池野谷博信／石田信子／石田信子／伊藤英明／(福)厚生会大井川睦園／掛川市ボランティア連絡協議会／金澤平三郎／(有)かねせい水産／川崎久美子／河津桜ボランティアセンター／黒田 久／近藤正子／静岡済生会療育センター令和／酒井 学／静岡市桜の園／静岡英和学院大学ボランティアセンター／静岡県生活協同組合連合会／浄土順子／庄野紀子／杉山寛子／杉山和範／正法寺・手島英真／高橋哲夫／(株)田丸屋本店／徳永雄三／西村延一／根本 健／野村春美／(公財)浜松こども園／(福)駿河会特別養護老人ホーム晃の園／宝円山京宝院／馬塚丈司／松永 博／(福)森町社会福祉協議会／安池康之／山城厚生／山本智ひろ／(福)静岡手をつなぐ育成の会ラポール・ファーム／和田幸子

■特別会員(8件)

KITAGAWA(株)／グループLET IT BE／(特非)サンサンいわた／静岡県サッカー協会チャレンジド委員会／静岡県労働金庫／(福)春風会／浜松市視覚障害者福祉協会／袋井市身体障害者福祉会

お力添えいただいた皆さんに深く感謝申し上げます

# **協会定款**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会





- (4) 前号の報告をするために必要がある場合は、総会を招集すること。
  - (5) 前1号、2号について、理事に個別に意見を述べ、必要により理事会の招集を求めること。
- (役員の任期等)
- 第16条 役員の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。
- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
  - 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。
- (役員の欠員補充)
- 第17条 理事又は監事のうち、その定数の3分の1を越えるものが欠けたときは、遅滞なくこれを補充しなければならない。

- (役員の解任)
- 第18条 役員が次の各号の一に該当するに至ったときは、総会の議決により、その役員を解任することができる。
- (1) 本人の健康等の理由により、職務の執行に堪えられないと認められるとき。
  - (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があったとき。
- 2 前項の規定により役員を解任しようとするときは、その役員に対し、解任の議決の前に弁明の機会を与えなければならない。
- (役員の報酬)
- 第19条 役員は、その総数の3分の1以下の範囲内で報酬を受けることができる。
- 2 役員には、その職務を執行するために要した費用を弁償することができる。
  - 3 前2項に関し必要な事項は、総会の議決を経て、理事長が別に定める。
- (顧問、相談役の委嘱)
- 第20条 この法人に顧問および相談役をおくことができる。
- 2 顧問および相談役は、理事会の推薦により、理事長が委嘱する。
  - 3 顧問および相談役は、この法人の運営に関して、理事長及び理事会の諮問に応じ、理事会などの席上において意見を述べることができる。
- (事務局の設置)
- 第21条 この法人の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局には、事務局長その他の職員を置く。
  - 3 事務局長及び職員は、理事長が任免する。
  - 4 常務理事は、事務局長と兼任することができる。
  - 5 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

## 第4章 総会

- (総会の構成)
- 第22条 総会は、正会員をもって構成する。
- (総会の種別)
- 第23条 この法人の総会は、通常総会と臨時総会の2種とする。
- (総会の権能)
- 第24条 総会は、この法人の運営に関する次の事項を議決する。
- (1) 定款の変更
  - (2) 解散
  - (3) 合併
  - (4) 年度当初の事業計画及び活動予算
  - (5) 事業報告及び活動決算
  - (6) 役員の選任又は解任、および職務
  - (7) 会費の額
  - (8) その他本会の運営に関する重要事項
- (総会の開催)
- 第25条 通常総会は、毎年1回開催する。
- 2 臨時総会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。
    - (1) 理事会が必要と認め招集の請求をしたとき。
    - (2) 正会員総数の5分の1以上から会議の目的を記載した書面により招集の請求があつたとき。

(3) 第15条第5項第4号の規定により監事から招集があったとき。

(総会の招集)

第26条 総会は、前条第2項第3号の場合を除いて、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2項第1号及び2号の規定によって請求があったときは、その日から30日以内に、臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集するときは、総会の日時、場所、及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに会員に対して通知しなければならない。

(総会の議長)

第27条 総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。

(総会の定足数)

第28条 総会は、正会員の過半数の出席がなければ開会することができない。

(総会の議決)

第29条 総会における議決事項は、第26条第3項の規定によりあらかじめ通知した事項とする。

2 総会の議事は、この定款に規定するもののほか、出席した正会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会における書面表決等)

第30条 各正会員の表決権は平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため総会に出席できない会員は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、または他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

3 前項の規定により表決した正会員は、前2条及び次条第1項の規定の適用については、総会に出席したものとみなす。

4 総会の議決について特別の利害関係を有する正会員は、その議事の議決に加わることができない。

(総会の議事録)

第31条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 会員総数及び出席者数

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長のほか、会議に出席した会員のうちから、当該会議において選任された議事録署名人2名以上が、署名押印をしなければならない。

## 第5章 理事会

(理事会の構成)

第32条 理事会は、理事をもって構成する。

(理事会の権能)

第33条 理事会は、この定款に定めるもののほか、次の事項を議決する。

(1) 総会に付議する事項

(2) 総会で議決した事項の執行に関する事項

(3) 総会で議決した年度当初の事業計画および、予算の追加、又は更正に関する事項

(4) 事務局の組織及び運営事項

(5) その他総会の議決を要しない会務の執行に関する事項

(理事会の開催)

第34条 理事会は、次にかかる場合に開催する。

(1) 理事長が必要と認めたとき。

(2) 理事総数の3分の1以上から会議の目的である事項を記載した書面により招集の請求があったとき。

(3) 第15条第5項第5号の規定により監事から招集の請求があったとき。

(理事会の招集)

第35条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長は、前条第2号及び第3号の規定による請求があったときは、その日から10日以内に理事会を招集しなければならない。

3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を示した書面により、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(理事会の議決)

第36条 理事会の議長は、出席理事の中から互選によって選出する。

2 理事会においては、理事現在数の過半数の出席がなければ開会することができない。

3 理事会の議事は、理事総数の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(理事会の表決権等)

第37条 各理事の表決権は、平等なるものとする。

2 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決することができる。

3 前項の規定により表決した理事は、前条及び次条第1項の適用については、理事会に出席したものとみなす。

(理事会の議事録)

第38条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 理事総数、出席者数及び出席者氏名

(3) 審議事項

(4) 議事の経過の概要及び議決の結果

(5) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長のほか、会議に出席した理事のうちから、当該会議において選任された議事録署名人2名以上が署名押印をしなければならない。

## 第6章 資産及び会計

(資産の構成)

第39条 この法人の資産は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

(1) 設立当初の財産目録に記載された財産

(2) 会費

(3) 寄付金品

(4) 資産から生ずる収入

(5) 事業に伴う収入

(6) その他の収入

(資産の区分)

第40条 この法人の資産は、特定非営利活動に係る事業に関する資産とする

(資産の管理)

第41条 この法人の資産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決による。

(会計の原則)

第42条 この法人の会計は、法第27条各号に掲げる原則に従って、行うものとする。

(会計の区分)

第43条 この法人の会計は、特定非営利活動に係る事業に関する会計とする。

(事業計画および活動予算)

第44条 この法人の事業計画及び活動予算は、理事長が作成し、毎事業年度開始前の理事会における議決を経たうえで通常総会にて決議しなければならない。

(暫定予算)

第45条 前条の規定により、予算が成立しない期間は、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前事業年度の予算に準じて収入・支出することができる。

2 前項の収入・支出は、新たに成立した予算の収入・支出とみなす。

(予備費の設定及び使用)

第46条 予算超過又は予算外の支出に充てるため、予算中に予備費を設けることができる。

2 予備費を使用するときは、理事会の議決を経なければならない。

(事業および予算の追加又は更正)

第47条 年度当初の事業計画および、予算成立後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定の事業および予算の追加又は更正をすることができる。

(事業報告及び決算)

第48条 この法人の收支決算は、事業年度終了後3か月以内に、事業報告書、活動計算書、貸借対照表及び財産目録等の決算に関する書類とともに、理事長が作成し、監事の監査を経たうえで総会において議決を経なければならない。

(事業年度)

第49条 この法人の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第7章 定款の変更、解散及び合併

(定款の変更)

第50条 この定款を変更しようとするときは、総会において、正会員総数の過半数が出席し、その出席者の三分の2以上の議決を経、かつ、法第25条第3項に規定する事項を変更する場合、所轄庁の認証を得なければならない。

(解散)

第51条 この法人は、次に掲げる事由により解散する。

(1) 総会の決議

(2) 目的とする特定非営利活動に係る事業の成功の不能

(3) 正会員の欠亡

(4) 合併

(5) 破産

(6) 所轄庁による設立の認証の取消し

2 前項第1号の事由によりこの法人が解散するときは、正会員総数の過半数が出席し、その出席者の三分の2以上の議決を経て解散する。

3 第1項第2号の事由により解散するときは、所轄庁の認定を得なければならない。

4 この法人が解散したときは、理事が清算人となる。

(残余財産の帰属)

第52条 この法人が解散（合併又は破産による解散を除く。）したときに残存する財産は、法第11条第3項に掲げる者のうち、解散の時点における、総会において出席した会員の過半数の議決を経て選定された者に譲渡するものとする。

(合併)

第53条 この法人が合併しようとするときは、総会において正会員総数の過半数が出席し、その出席者の三分の2以上の議決を経、かつ、所轄庁の認証を得なければならない。

(閲覧)

第54条 会員及び利害関係人から法に定める備え付け書類の閲覧請求があったときは、正当な理由がない限り、これに応じなければならない。

## 第8章 公告の方法

(公告の方法)

第55条 この法人の公告は、静岡県ボランティア協会掲示板及び、この法人の機関誌において行うとともに、官報に掲載して行う。ただし、貸借対照表の公告については、この法人のホームページに掲載して行う。

## 第9章 緊急的対応

(緊急的対応)

第56条 災害時などの緊急的な対応が求められるときは、理事長の判断等により、迅速な対応に努める。その結果については、理事会並びに総会に報告しなければならない。

## 第10章 雜則

(細則)

第57条 この定款の施行に関し必要な細則は、理事会の議決を経て理事長が別に定める。

## 附 則

- 1 この定款は、平成14年5月23日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の事業計画及び収支予算は、第44条の規定にかかわらず、設立総会の定めるところによる。
- 3 この法人の設立当初の事業年度は、第49条の規定にかかわらず、この法人の設立の日から平成15年3月31日までとする。
- 4 この法人の設立当初の会費は、第8条の規定にかかわらず、次に掲げる額とする。

- (1) 正会員 (個人／一口) 3,000円  
(団体／一口) 10,000円
- (2) 賛助会員 (一口) 5,000円
- (3) 特別会員 (一口) 30,000円以上

**附 則**

この定款は、平成 24 年 5 月 20 日から施行する。

**附 則**

この定款は、平成 24 年 9 月 10 日から施行する。

**附 則**

この定款は、平成 25 年 5 月 7 日から施行する。

**附 則**

この定款は、平成 29 年 5 月 21 日から施行する。

**附 則**

この定款は、令和 3 年 5 月 16 日から施行する。

## **広告協賛(応援)企業・団体様 紹介**

特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会

日本で唯一の軽量鉄骨ゼネコンを目指している(株)ナガワは、  
大型商業施設から事務所・店舗・倉庫まで、自由設計でありながら  
短工期・低コストでシステム建築・モジュール建築(プレハブ)  
ユニットハウスの企画・設計・製造・販売を行っております。



地域の防災をしっかりサポートします



# NAGAWA

東証プライム上場企業

株式会社 ナガワ

静岡営業所

〒421-0121 静岡県静岡市駿河区広野3-16-8

T E L : 054-268-6600 <https://www.nagawa.co.jp>



福祉車両の  
(有)コクボフェンダー製作所

054-261-7769  
<http://www.kokubofs.co.jp/>

安心の  
**THE**  
ラインアップ



## あなたの暮らしを まるごと守る



© JAPAN-DA

あなたの生活に寄り添う

損保ジャパンの「THE(ザ)」シリーズ充実の補償内容、

万全の事故対応、安心のサービスで

あなたの暮らしをまるごと守ります。

損保ジャパン株式会社  
〒420-0031 静岡県静岡市葵区呉服町1-1-2  
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

有限会社ナカタニは  
静岡県ボランティア協会を  
応援しています



## 有限会社ナカタニ

〒424-0871 静岡市清水区上原2-2-36

TEL: 054-345-1886

FAX: 054-345-2710

E-Mail: [nakatanani@nakatanlag.co.jp](mailto:nakatanani@nakatanlag.co.jp)

URL: <http://www.nakatanlag.co.jp>



### 『 本物の安心をお届けします！！ 』

あなたのニーズに合わせた保険を設計致します

安全と財産管理、各種保険の申込みと事故相談は…

損保ジャパン(株) SOMPOひまわり生命保険(株)

第一生命保険(株) オリックス生命保険(株) 代理店



## サマーショート ボランティア活動計画

夏休みを利用したこのボランティア体験プログラムでは、毎年中学生から高校生・大学生が、福祉施設や教育施設で活動に取り組みます。今年も新型コロナ感染症の影響で、受入れ人数を制限せざるを得ない状況でしたが、参加者は、人と人とのつながりの大切さを感じ、たくさん「ありがとうございました」と笑顔をいただきました。

施設職員の仕事を知り、学び、利用者の方々と触れ合うことで、福祉の仕事に興味関心を寄せ、将来の進路として考える機会となっています。



## 高校生・大学生と共につくる 「地域共生フォーラム」

私たちには、住みなれた地域や自分が暮らしたい地域で生活する権利があります。そして誰もが、年齢や障がいの有無にかかわらず、人とのつながりのなかで自分らしく生きたいと願っています。

次代を担う若い世代とともに、それぞれが相手を思いやり共に生きていく「共生社会」について、身近にある福祉課題から学び、考えるフォーラムを開催しました。みんなが笑顔になれる社会の実現にむけて、さまざまな福祉課題を学んでいきます。



# 爽やかな風のように心に届く福祉

～児童・障がい者から高齢者まですべての世代の皆様のために～



社会福祉法人 春風会

〒410-0302 静岡県沼津市東椎路 1742-1  
法人HP <http://www.shunpuukai.com>

TEL055-967-1166 FAX055-967-3566  
Eメール [shunpuukai@mail.wbs.ne.jp](mailto:shunpuukai@mail.wbs.ne.jp)



みんなが大事に思っている医療・福祉だからこそ、  
質の高いサービスを提供したい。  
私たちは地域共生社会の実現を目指して、  
これからも真摯に取り組んでいきます。

## 質の高いサービスを、 揺るぎない理念と共に。



〒430-0946

静岡県浜松市中区元町218-26

電話:053-413-3300(代)

FAX:053-413-3314



就労支援施設 浜松学園(2022年3月竣工)

聖隸浜松病院 S棟(2023年度竣工予定)



社会福祉法人

# 天竜厚生会



2023

健康経営優良法人  
Health and productivity

地域のみなさまにささえられておかげさまで73周年

これからも熱い心で、地域のニーズにお応えします



当会の情報はこちらから！

【天竜厚生会HP】 【採用ページ】



社会福祉法人天竜厚生会 法人本部  
〒431-3492 静岡県浜松市天竜区渡ヶ島217-3  
TEL:053-583-1115(代表)

## 静岡県ボランティア研究集会



県内でボランティア・市民活動に関心を寄せる人たちや、実際に活動している人たちが一堂に会し、情報交換や話し合いを通して、お互いにボランティア活動の学習とボランティア同士のネットワークをはかる機会として、年に一回、東部・中部・西部と会場を持ち回りしながら開催しています。

令和4年度は、「すてきな出逢い・そだてるこころ・のびのびと 明日のボランティアにつなげていこう」のテーマのもと、裾野市生涯学習センターと市民文化センターを会場に、開催しました。

7つの分科会では、参加者同士が活発に意見交換をし、有意義な時間を過ごしました。



## TOMOSHIBIプロジェクト 高校生スタディツアーア

東日本大震災から11年が経過し、震災の記憶や被災された方々の経験を次代に伝えることが静岡での防災の備えにつながると考え立ち上げた「TOMOSHIBIプロジェクト」。

令和4年度は、8月9日から12日の日程で、高校生18名と共に岩手県被災沿岸部を訪れ、防災について学びました。避難経路を辿ったり、震災遺構での津波映像を観ることで、当時の様子を追体験しながら、自分や大切な人のいのちを守ることを考えました。



## 紙から創る、コミュニケーション

<http://dainichi-p.co.jp>



自社製造のメモ帳専門メーカー「メモ工房」。年間500万冊以上の実績。販促、ノベルティに最適なメモのことなら大日三協(株)のメモ工房へ!

# 大日三協株式会社

静岡県静岡市葵区流通センター12-1  
TEL:054-263-2435(代)・FAX:054-263-2409



その他にも色々なメモ帳をご用意!

メモ工房

検索

**「1本のジュースがボランティアを応援」自動販売機設置先  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日 終了設置先を含む)**

**【伊藤園株式会社】**

(特非) 活き生きネットワーク／静岡保徳(株)／(株)ティー&ティー(DOPE) 静岡店・横浜山下町店／日進電気(株)／特別養護老人ホーム白扇閣／袋井市スポーツ協会アクアピュア駐車場／袋井市体育協会堀越公園西側・堀越公園東側／(福)明和会養護老人ホーム明和苑／明和会ワクスつばさ／静岡市番町市民活動センター

**【ダイドードリンコ株式会社】**

アースヴィレッジ藤枝／あーす介護ショップ／アースふるーら静岡石田／(有)井嶋新聞店都田販売所／イーストタウン翼正面玄関・裏口・和／伊太コミュニティセンター／庵原山一乗寺／イトー西山病院未来型デイサービス現場／SBSマイホームセンター藤枝展示場／オイスカ高等学校／農事組合法人大久保園芸／(有)カメヨシ榛南支店／菊川市民総合体育館／特別養護老人ホーム喜久の園／KITA GAWA(株)／特別養護老人ホーム高麗／小沼製餡(株)／(福)小羊学園つばさ静岡／(株)サイラン／JA大井川葉梨支店／(株)ジェイフィルム工場食堂・静岡工場／(株)静岡オリコミ／静岡県総合社会福祉社会館2F／特別養護老人ホーム松秀園／聖隸おおぞら療育センター1F・3F／聖隸健康サポートセンターshizuoka／聖隸健診センター／聖隸浜松病院C病棟7階デイルーム／聖隸袋井市民病院／聖隸富士病院1F／聖隸三方原病院管理棟4F・スインプロス／大日三協(株)／専門学校中央医療健康大学校／中外製薬工業(株)藤枝工場／中日新聞御前崎専売店／介護付有料老人ホームでらいと島田・でらいと焼津／(福)天竜厚生会特別養護老人ホーム登呂の家／戸隠そば／トヨタレンタリース静岡浜松新幹線口北側／中村醤油(株)／西山ナーシング社員食堂／西山病院新館／(福)西山福祉事業団西山の杜／日管(株)御殿場支店／ハートライフ千代田／(福)白翁会光陽荘／浜松市リハビリテーション病院1F・2F／特別養護老人ホーム晃の園／ビューティーコレクション焼津店／平井工業(株)／平井工業(株)ライラックの園現場／富士ツバメ(株)沼津支店・榛原支店・浜松支店・富士宮営業所／札の辻クロス駐車場3F・4F・5F／プレミアムハートライフケアホーム千代田／ポンベルソ／(株)牧之原製作所／みかん薬局／三井・ケアマーズフロロプロダクツ(株)／(株)村上開明堂大井川工場／(株)有信商会／(医)陵和会浜松南病院／ナーシングホームオンフルール／平井工業(株)牧之原現場／静岡市番町市民活動センター

**【東海ビバレッジサービス株式会社】**

KITA GAWA(株)①／KITA GAWA(株)②／久住山洞慶院

**【サントリービバレッジサービス株式会社】**

(学)日本語教育センター

**【FV ジャパン株式会社】**

聖隸富士病院4F・5F・6F

(順不同)



**RICOH**

**FUJIFILM**

富士フィルム BI  
特約店

えんぴつからオフィス家具、複合機、コンピューターまで、  
オフィスのことならおまかせください。



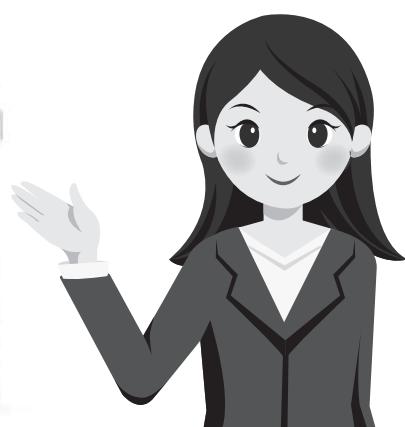
静岡市葵区駿府町 1-37 (北街道沿い 鷹匠 2 丁目交差点)

TEL : 054-252-3101 / FAX : 054-254-0717

楽天市場にて出店中 : <http://www.rakuten.co.jp/tamurabungu/>



オフィス印刷機のご用命は、  
とうぶんどう  
**謄文堂**にお任せください!!



**株式会社 謄文堂**

静岡市葵区本通4丁目1-4

Tel : 054-251-3111 Mail : century@tobundo.com

# DELTA PANEL

デルタパネルは建物等への浸水を防止します。  
デルタパネルは設置が簡単で経済的です。



設置例



設置イメージ図

## 「デルタパネル」設計価格

名称	規格	単位	単価(円)
デルタパネル DP-100 (標準仕様)	寸法: 長さL 108cm×幅B 78cm×高さH 60cm 重量: 約3.1kg 対応水深: 50cm以下 材質: ポリエスティル基布+塩化ビニルコーティング アルミフレーム、アルミパイプ	基	45,000
デルタパネル (コーナー用)	寸法: 長さL1 56cm×長さL2 82cm×幅B 78cm×高さH 60cm 重量: 約4.1kg 対応水深: 50cm以下 材質: ポリエスティル基布+塩化ビニルコーティング アルミフレーム、アルミパイプ	基	75,000
端部シート	寸法: 長さ80cm×幅140cm 左右両端部用 2枚/1セット	セット	15,000

\*価格に消費税は含まれておりません。運賃別途。

「デルタパネル」は浸水の恐れのある建物や、地下への入口に設置するだけで水の侵入を防ぐ、土のうに変わる水防ツールです。

漏水量は土のうと比較して約1/40\*です。

「デルタパネル」は、耐久性のある防水シートで製作することで、折り畳んで丸めてコンパクトに収納でき、軽量で簡単・迅速に設置できます。

\*灌水試験による実測値から算定

**MakMax 太陽工業株式会社 防災課**

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 2-33-16 Tel. 03-3714-3344

<http://www.taiyokogyo.co.jp/>

Fax. 03-3714-3441

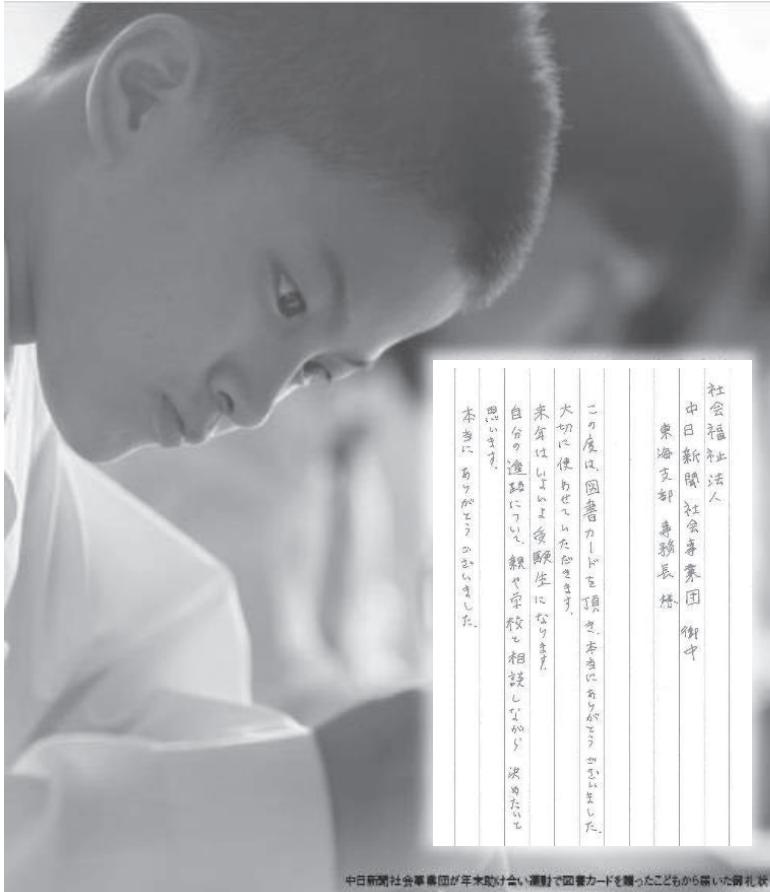


**KITAGAWA 株式会社**

〒420-0841 静岡市葵区上足洗二丁目 11 番 53 号  
TEL054-209-7800 FAX054-209-7802



# 皆様の善意を地域の福祉に役立てます



中日新聞社会事業団が年次助成金懇親会で図書カードを贈ったこどもから書いた感謝状

## 《主な福祉事業》

- ・静岡県西部地区 生活保護家庭の中学生と小学校新入学児童に図書カード贈呈
- ・浜松市内児童養護施設入所の高校進学者に電子辞書贈呈
- ・浜松市内児童養護施設出身の大学生らに生活支援金贈呈
- ・静岡県内のボランティア団体を顕彰する中日ボランティア賞の制定
- ・中日新聞東海本社主催の事業へ児童福祉施設入所者などを招待
- ・各種福祉団体への後援 など

ご寄付はご持参（平日 10 時～17 時）

または郵便振替でお願いいたします

### 【送金先】

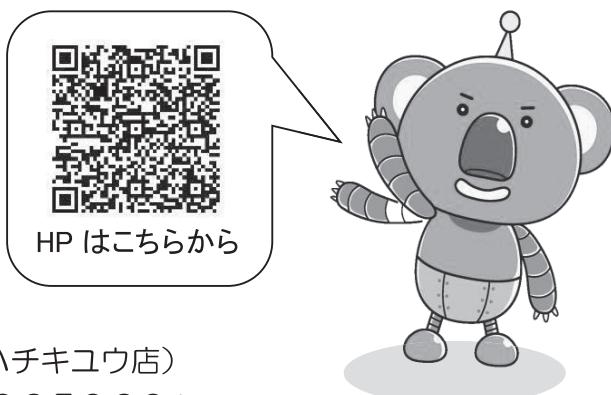
ゆうちょ銀行 00880-9-65060

「中日新聞社会事業団東海支部」

※ネットバンクからは

ゆうちょ銀行 店名 ○八九 店（ゼロハチキユウ店）

当座預金・口座番号 0065060へ



## 社会福祉法人 中日新聞社会事業団東海支部

〒435-8555 浜松市東区薬新町 45 番地

電話 053-421-7711 (代) FAX 053-421-5987



# 特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会のご案内

社会の様々な問題や課題に対し、市民自らが主体となり取り組むボランティア活動・市民活動は、年々ますます多様化し広がりを見せています。活動に参加する人の年齢や職業、目的、関わり方も実に様々。静岡県ボランティア協会は、そんな自由で柔軟な、無限大の可能性を秘めた市民活動を推進するため、1977年4月10日に誕生し、2022年45周年を迎えました。

個人・グループ・学校・行政・企業などの橋渡しをし、個々の力をさらに大きな力へ変えていく“中間支援機関”として、様々な事業に取り組んでいます。(2002年5月、特定非営利活動法人として認証を受ける)

## 広報・情報提供

ボランティア活動や市民活動、生活に役立つ県内外の情報を提供しています。

- ・機関誌「ボランティア情報静岡」の発行
- ・ぽらんていあMailの発行
- ・ホームページによる情報提供
- ・ボランティア活動に関する冊子「ボランティアガイドンス」の作成・配布

## 調査・研究

社会のニーズや問題を把握し取り組んでいくための調査・研究を行なっています。

## 相談・支援活動

ボランティア活動や市民活動に関する様々な相談の受け付け、支援を行っています。

- ・個人、学校、企業、団体などからのボランティア活動に関する相談対応
- ・NPOやNGO、ボランティアグループの立上げ、活動支援
- ・人材、団体、助成金、活動等の紹介、情報提供
- ・ボランティアビューローや活動資機材の貸出し
- ・青少年の体験活動・ボランティア活動支援
- ・ボランティア活動参加促進
- ・災害時のボランティア活動に関する情報提供や相談対応
- ・「ふじのくに協力隊を育てる会」の活動支援
- ・「フードバンクふじのくに」の活動支援
- ・「ウクライナ希望のつばさSHIZUOKA」の活動支援

## 体験と学びの場づくり

福祉、国際交流、環境、芸術、災害、医療などの社会のあらゆるテーマに対し、興味関心を深め、問題・課題の解決に向けて考え、行動する機会を提供しています。

- ・サマーショートボランティア活動計画
- ・一人じゃないよ「ケアする人のケア」を学ぶ会
- ・高校生スタディツア－ INアジア
- ・静岡県ボランティア研究集会
- ・ボランティアによる災害時の要配慮者支援体制づくり
- ・ボランティアコーディネート研修会
- ・ソーシャル・ファシリテーション講座
- ・高校生東北スタディツア－
- ・高校生・大学生と共に創る「地域共生フォーラム」
- ・実習生の受け入れ
- ・講演会、シンポジウム、企業等への出前講座の開催

## 災害支援活動

自然災害等で大きな被害を受けた地域において、いち早く現地の被害状況を把握し、ニーズに沿ったボランティアの送り出しや、被災された方々に寄り添った支援活動をしています。

## 指定管理業務

静岡市番町市民活動センターの管理運営

### ■ボランティア活動に関するお問合せは…

特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会

〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70 静岡県総合社会福祉会館2F

Tel. 054-255-7357 Fax. 054-254-5208

E-mail : evolnt@mail.chabashira.co.jp URL : <https://www.shizuvol.jp>



**2022-2023 年度年次レポート**  
2023 年 6 月 10 日発行／発行人 小野田 全宏

〒420-0856 静岡市葵区駿府町 1-70 県総合社会福祉会館内  
TEL.054-255-7357 FAX.054-254-5208  
URL <https://www.shizuvol.jp>  
E-Mail evolnt@mail.chabashira.co.jp